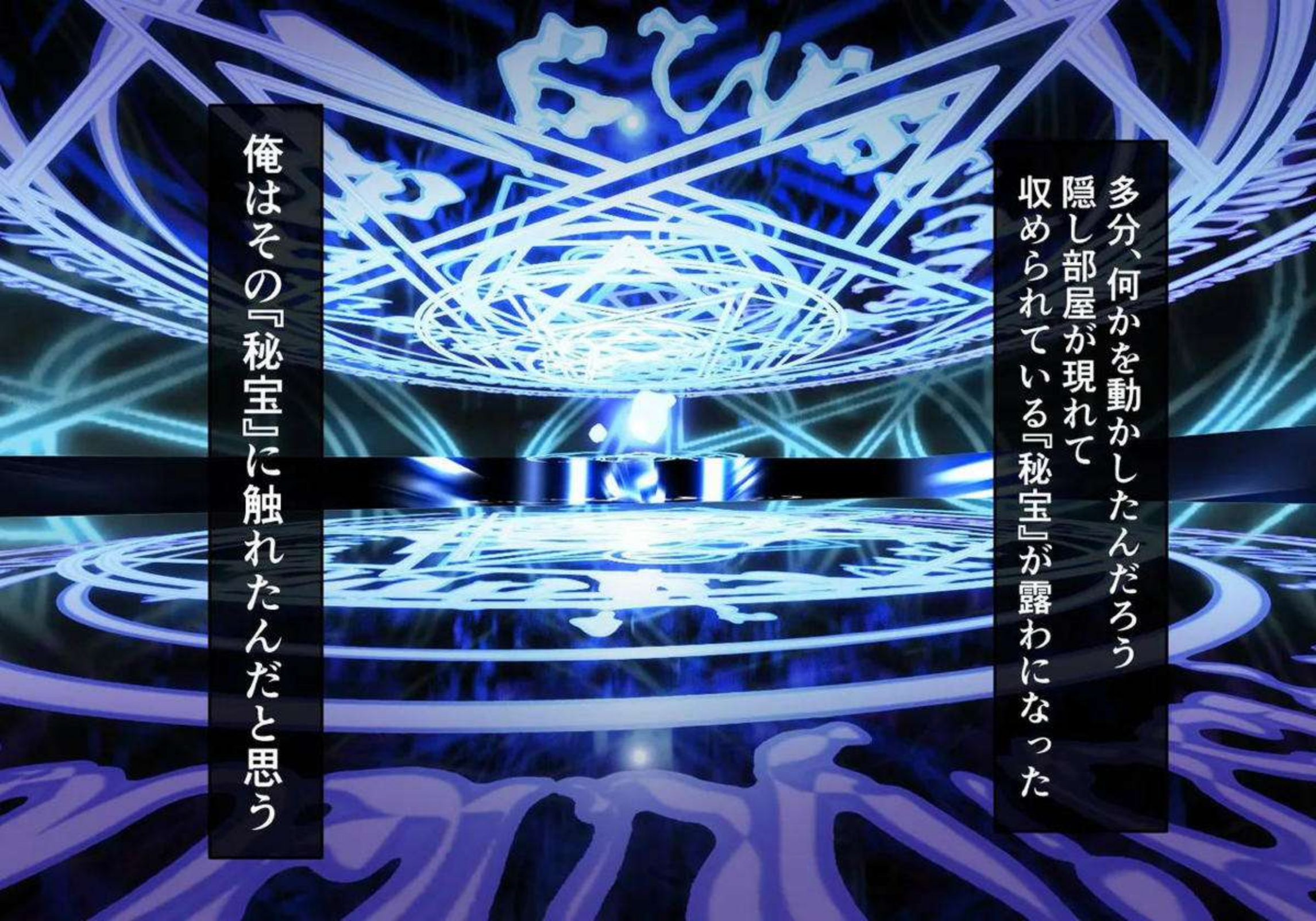
エデンズスクラーヴィン
EDENS SKLAVIN
隷属の巫女コッコロ編

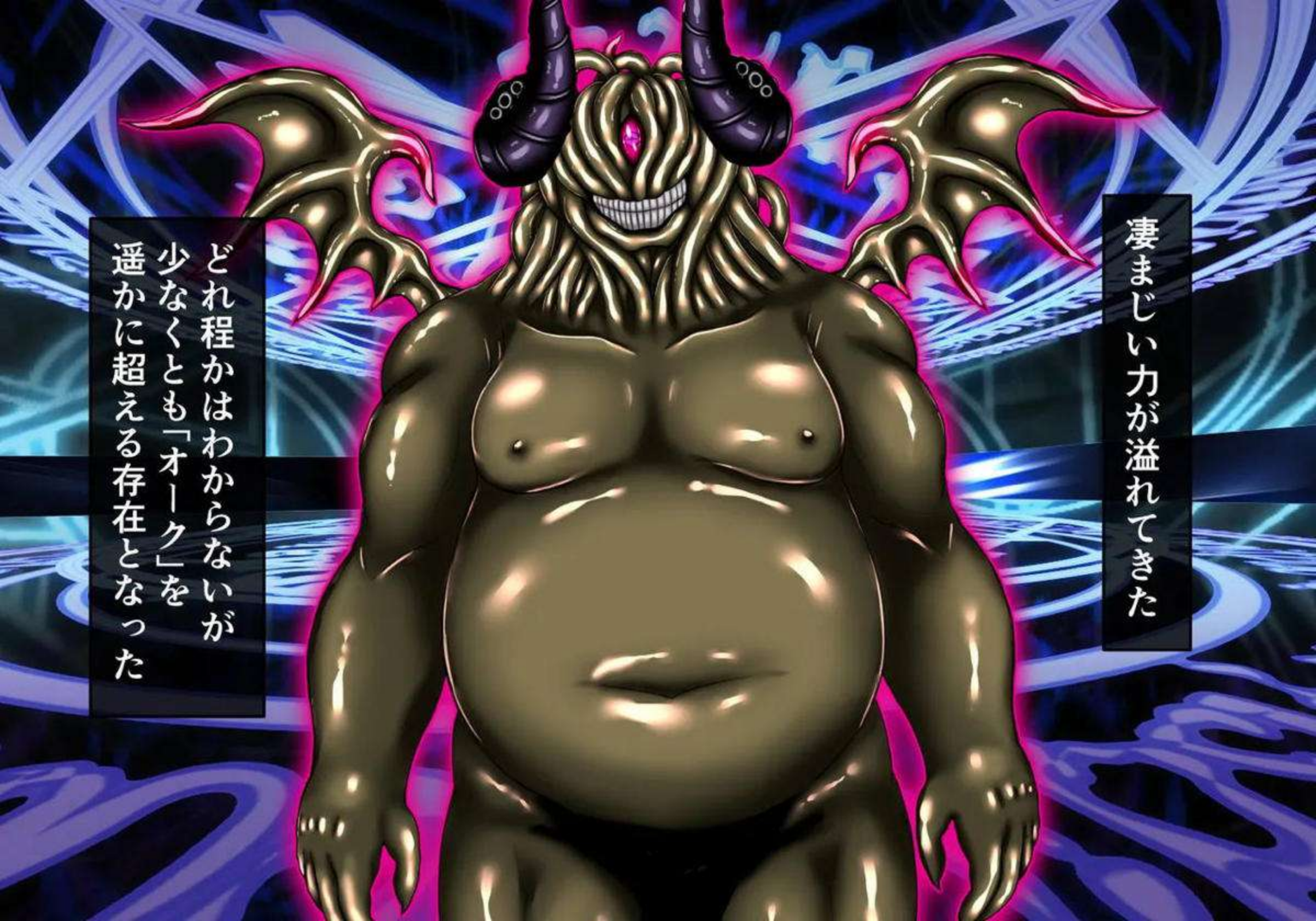
俺の名はゴズモグ
ただのオークだ
オークらしく
仲間達と共に村を襲い、女を犯し
気ままに暮らしていた

だが、俺達の悪行を知った王国が
討伐隊を送り込んできやがった
あっという間に殲滅されて
残ったのは俺だけだった

命からがら遺跡の奥へと逃げ込んだ

そこで何が起こったのか
俺自身もよくわかっちゃいねえ


多分、何かを動かしたんだろう
隠し部屋が現れて
収められている『秘宝』が露わになった
俺はその『秘宝』に触れたんだと思う

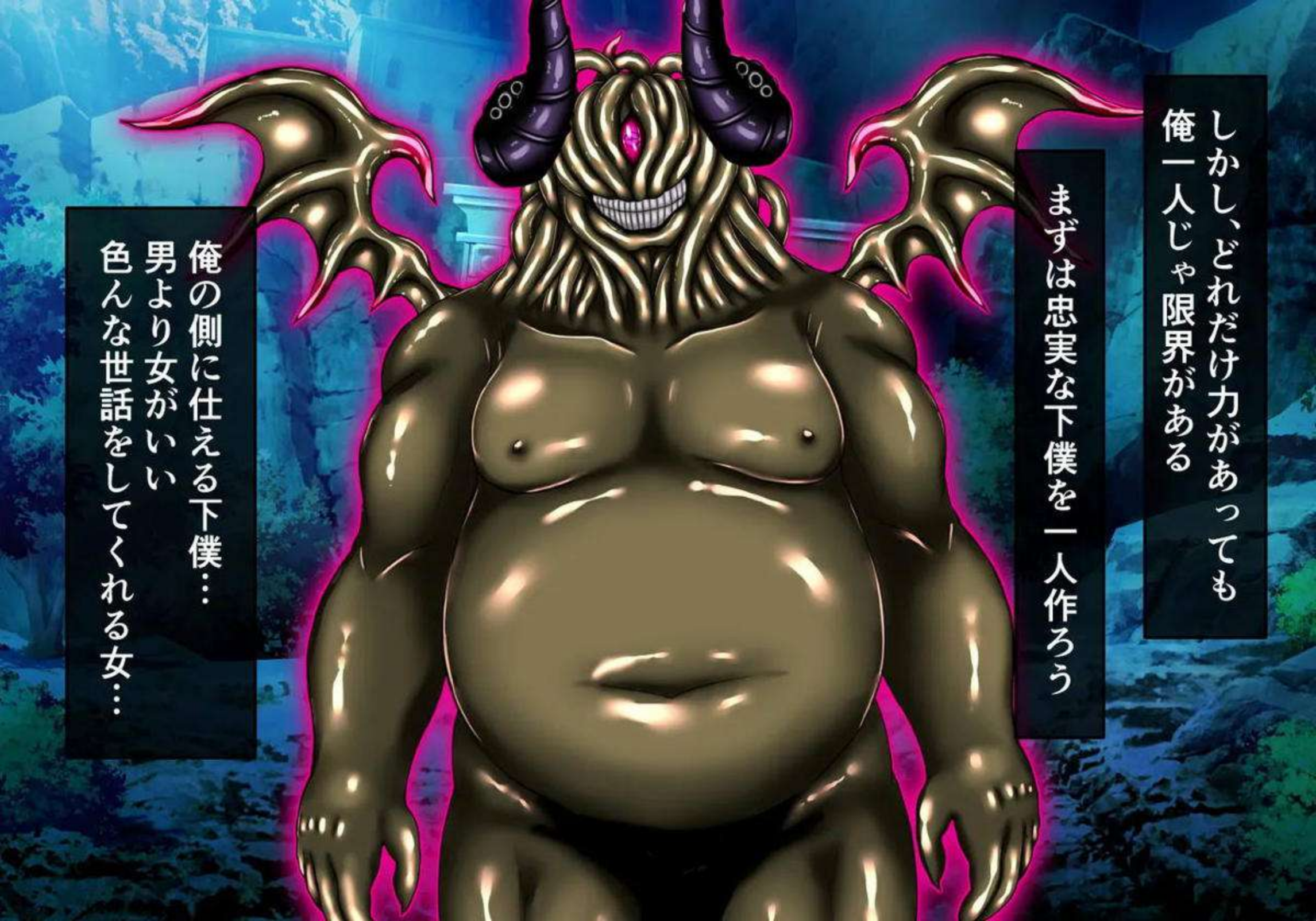

凄まじい力が溢れてきた
どれ程かはわからないが
少なくとも「オーク」を
遥かに超える存在となった

この力を得た俺にとって
討伐隊なんざ敵じゃあなかった

そしてこのまま大人しく
巣に籠る俺じゃねえ

この力ならなんでも出来る
ガキの頃から夢見た
一国一城の主に……
いや、もっとデカイこと…

この世界の
支配者になることも…!!


しかし、どれだけ力があっても
俺一人じゃ限界がある
まずは忠実な下僕を一人作ろう
俺の側に仕える下僕…
男より女がいい
色んな世話をしてくれる女…

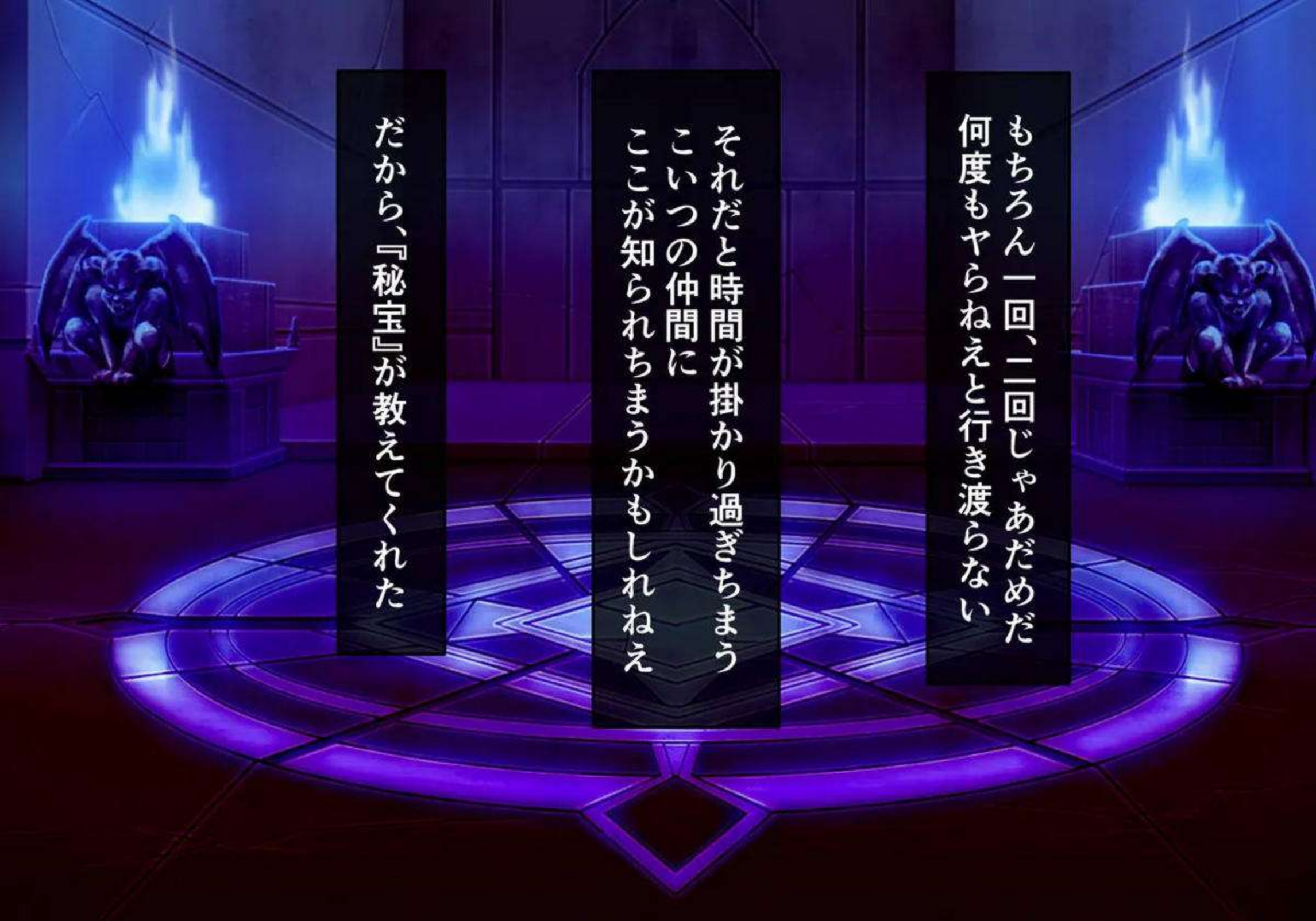
早速いい女が見つかった
この女は
女神の巫女で名前はコッコロという
俺が身体に取り込んでいる
『秘宝』がそう教えてくれた
この女が「おすすめ」だともな
だから俺はこの女を捕まえた

さて、こいつを俺の下僕へとする方法
それも『秘宝』が教えてくれた
簡単だ
犯せばいい
ずぶぶんッ
ブチ
ブチチッ
うぎぐぅうううッ

犯しまくって俺の精で
子宮を満たしまくってやれば
相手に俺の力が行き渡り
俺に忠実な下僕へと変わるらしい
おッ
あぁんっ♥
ぢ～チュッ♥
ぢぢチュッ♥
ぢぢチュッ♥

んあぁくーっ♥
びゅるるるみゅ♥♥

実に俺に合ったやり方だぜ
女を犯せる上に
下僕に出来るんだからな
ビクッ
どろ〜



もちろん一回、二回じゃあだめだ
何度もヤらねえと行き渡らない

それだと時間が掛かり過ぎちまう
こいつの仲間に
ここが知られちまうかもしれねえ

だから、『秘宝』が教えてくれた

この異形、俺の力で生み出したものだが…
捕らえた相手の身体を
俺の力が行き渡りやすいように
整えてくれる

で、どうだ
俺に仕える気になったか？

何度も言わせないでください
主はあなたではありません
わたくしの主様は…

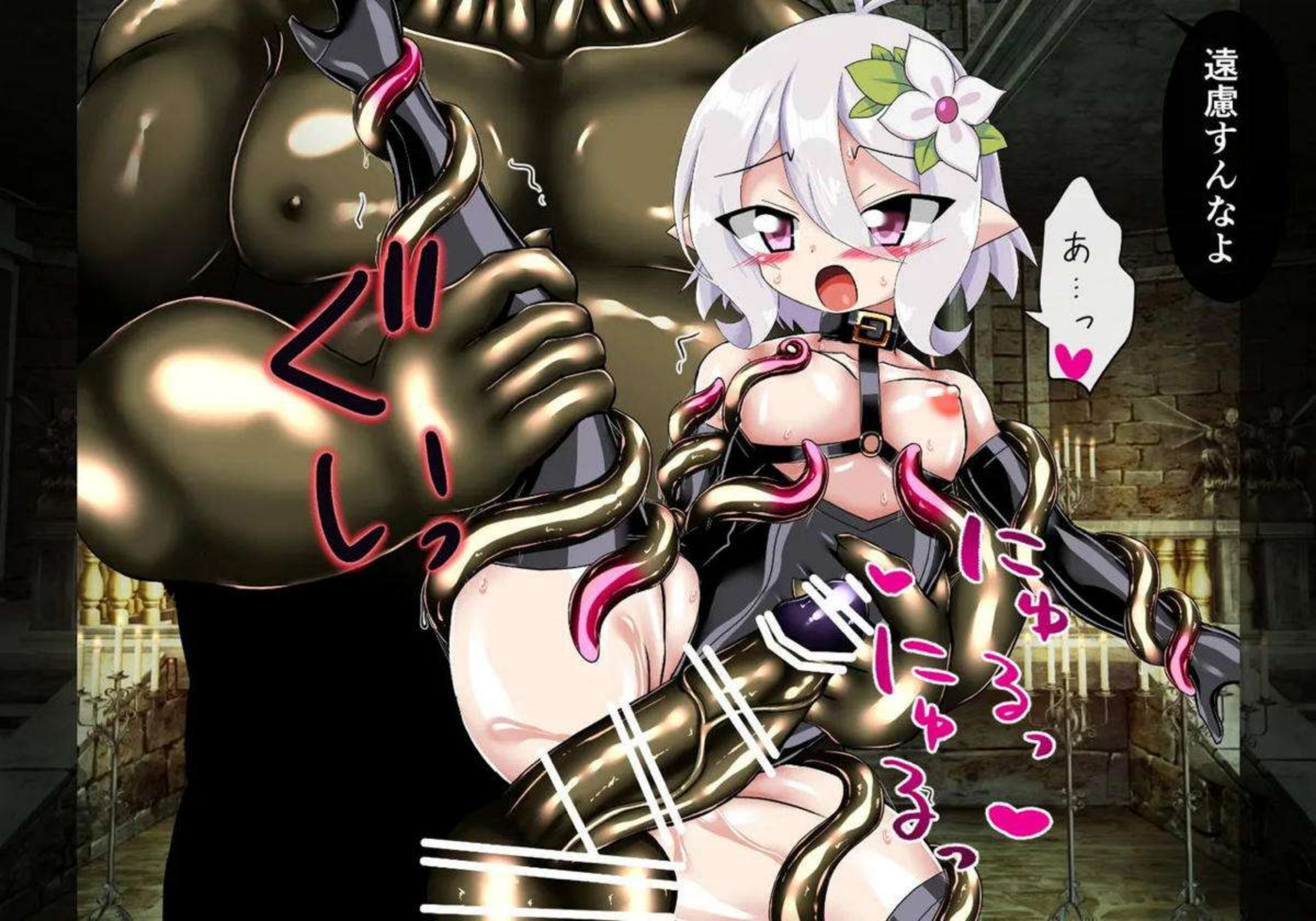
ビクッ♡
おぉぅ♡♡
すごぉ♡!!
んー…まだまだか

まぁ、時間の問題だな
おぉ
おぉ
ビクッ
ビクッ
おぉ
ズチュ
ズチュ

よーし
調整完了だな
ほら、これ見な

ドキッ
あ
ズドン!!

あ…っ
あ…っ
ぐひひ…マンコがドロドロだいい効きだぜ
とろぉー…♡
欲しいんだろ俺のチンポがよ
そ、そんなことは…


遠慮すんなよ
あ…っ♥
にゅるっ♥
にゅるっ
くいっ

満足するまで犯してやるからよぉ
ビクッ♡
あぁんっ♡
ぶるるんっ♡

いい締まりだぜ
欲しくて堪らなかったんだなぁ
あぁんッ♥
あぁんっ♥
あぁんッ♥
ずぢゅ
ずぢゅ
ずぢゅ

乳首もコリコリだ
きゅむうぅぅ
あぐぅぅぅぅぅぅ♡

クリも勃起しまくってんなぁ

あぁんあぁあぁ♥

くりゅっ♥
くりゅっ♥
くりゅっ♥

んじゃ、イクぜぇ
あぁぁぁッ
ビクッ♡ビクッ♡ビクッ♡
ずぽずぽずぽずぽ
あぁぁ
あぁぁ

ぶるるるん♡♡
ああああ♡♡

ビクッ
ビクッ
あぁ
あぁ
あぁ
あぁ
ぢゅ
ぢゅ
ぢゅ

んぶッ
じゅるるるッ
じゅじゅぞぞぞッ
んんうううっ

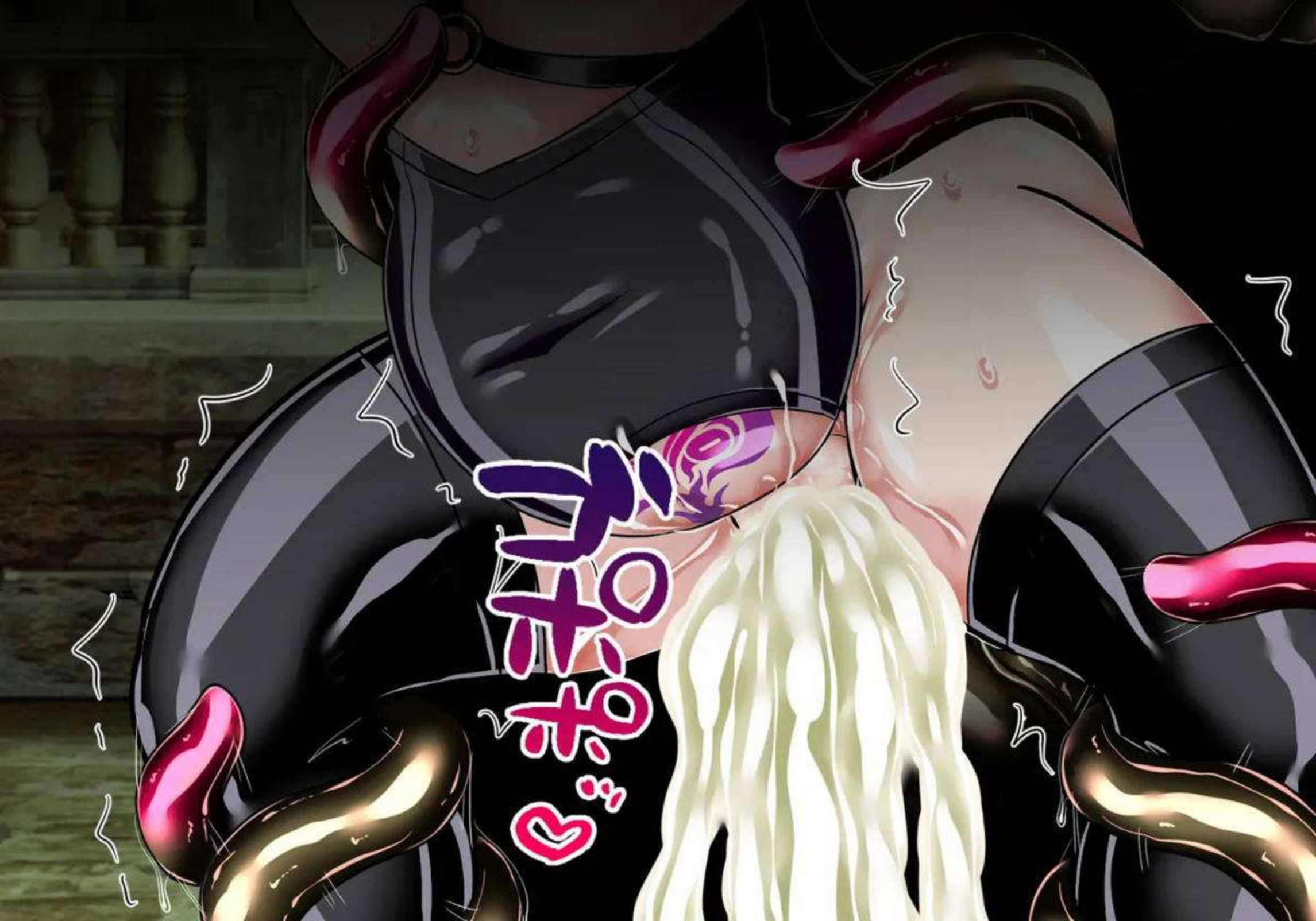
お゛お゛お゛お～～ッ
びゅるるるぅ♡♡

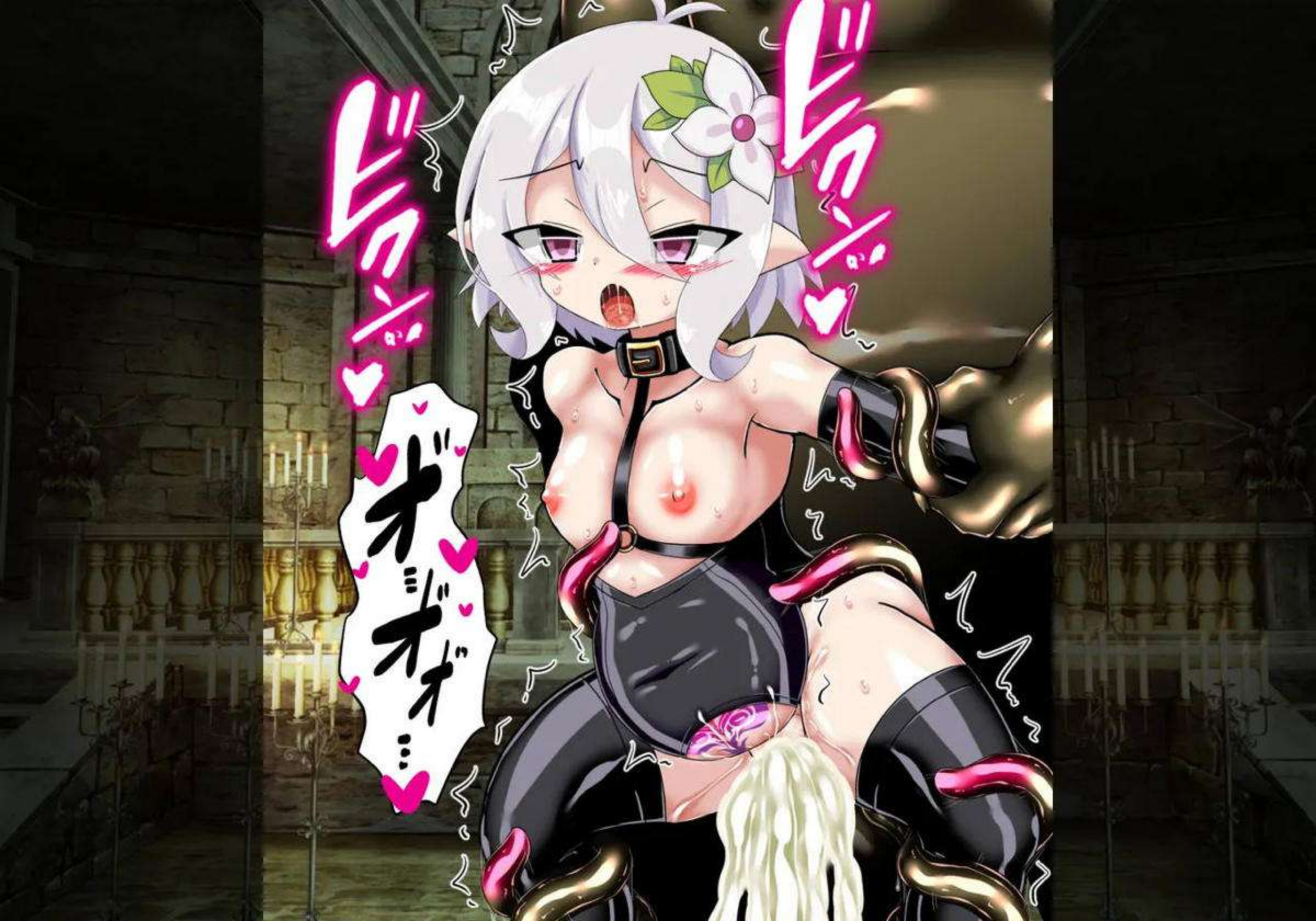
あぁぁ
あぁっ
はぁぁぁ
ぁぁぁは
ドリチュ
ドリチュ

次は加減無しだぜ
ビクッ♡ビクッ♡ビクッ♡
おほぉ♡
ズッ
ぷしゅっ♡

あぁあぁんっ♥
빌빌빌빌♥

ぎゅるるるるるっ
あがあがあがあがっ


ガポポ♡

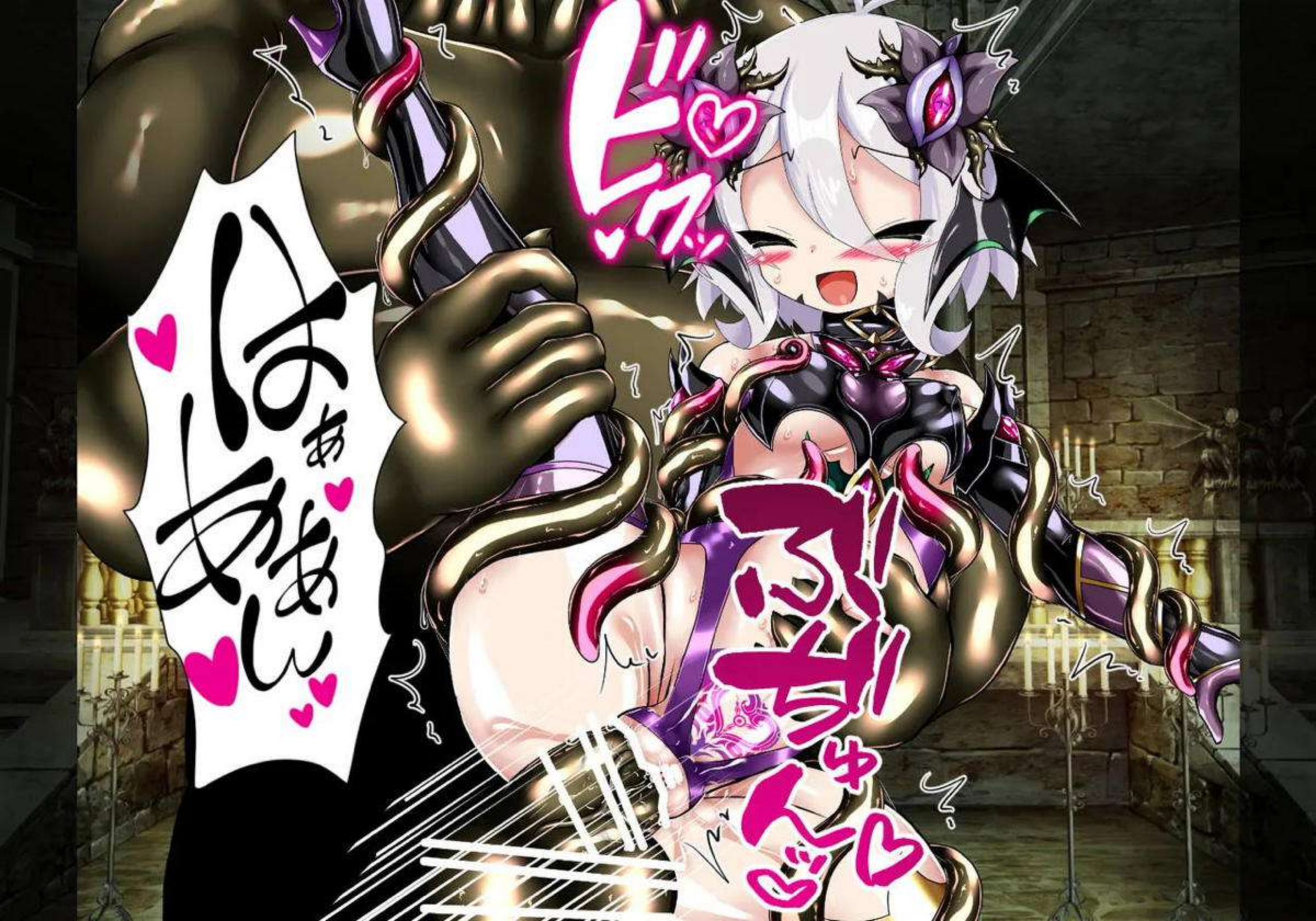

ビクッ
ビクッ
オオオ

お前は誰だ？
言ってみろ

わたくしは偉大なる主様の牝奴隷コッコロです
おはようからおやすみまで揺りかごから墓場まで
誠心誠意、お世話させて頂きます

主様ってのは誰だ？
もちろん…あなた様です♥
偉大なる主…ゴズモグ様♥

よーし、じゃあ牝奴隷としての初仕事をしてもらおうか
はい…
にゅるっ
にゅるっ
ぐいっ
主様のために生まれ変わったわたくしの身体を存分に堪能くださいませ


ドゴ♡
ふぎゅん♡
はぁぁぁぁ

はぉ゛ぉ゛♥
んぁ゛あっ♥
あ゛ぁ゛あァ♥
ん゛ぁ゛ぁあぁッ♥
ずぢゅ
ずぢゅ
ずぢゅ

ぎゅむぅぅ
びくっ♡
あ、ありがとうございますぅぅ♡
わっわたくしの乳を鞠ってくださってぇ♡

んぎいいいい
わっわかりますかっ
御主人様のおかげでぇ
わたくしのクリトリスは
勃起しまくっていますうううっ
くりゅっ
くりゅっ
くりゅっ

ぼぼぼぼぼぼ!!
ぷるるるん♡

ビクッ
ビクッ!!
ぎゅぅぅぅぅ
ぎゅぅぅぅぅ
ぎゅぅぅぅぅ
ぎゅぅぅぅぅ
ぎゅぅぅぅぅ

主様あ…お口が寂しいですぅ
だ、だからぁ
ちゅ
ちゅ
ちゅ

んっ♡

じゅるるるっ♡

じゅぞぞぞっ♡

んむっ♡

んぅぅぅ♡!!

ふぁ
わ、わたくしのお口を
犯してくださり
ありがとうございますぅっ
ちゅぱ
ちゅぱ
ちゅぱ

まだまだ♡
ぶるるるん♡

あっ
あっ
ぎ
ー
ア
ッ
ぉ
ぉぉ
ぉ
ドリ
チュ
ドリ
チュ

ああ…
わたくしの全てを
嬲ってくださるのですね
にゅるっ
にゅるっ
にゅるっ

嬉しいですぅ
ここまで…主様がわたくしを愛してくださるなんてぇ
ドリチュッ
ドリチュッ

ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
ほぉぉっ♡
ズッ
ぷしゅ♡

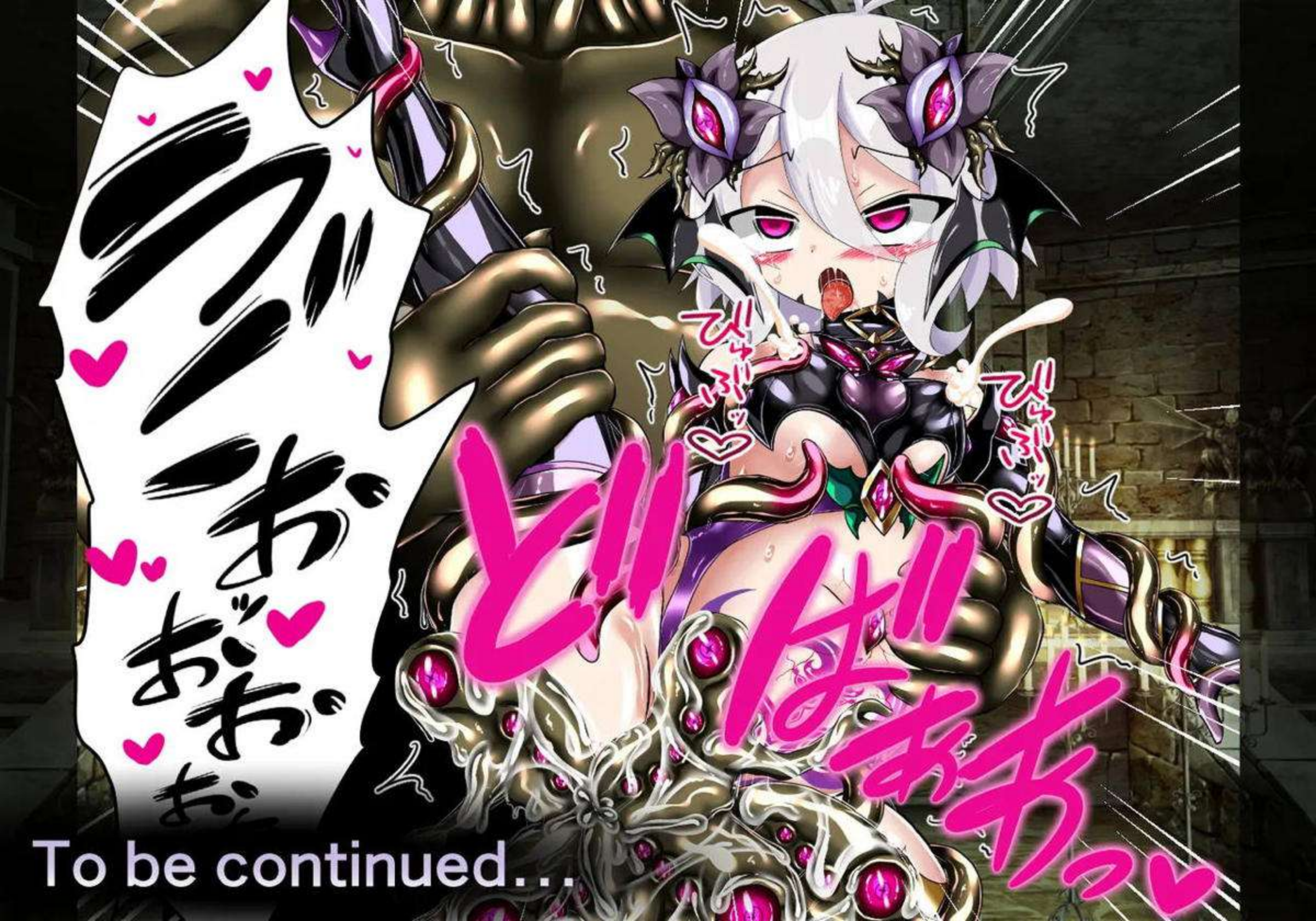
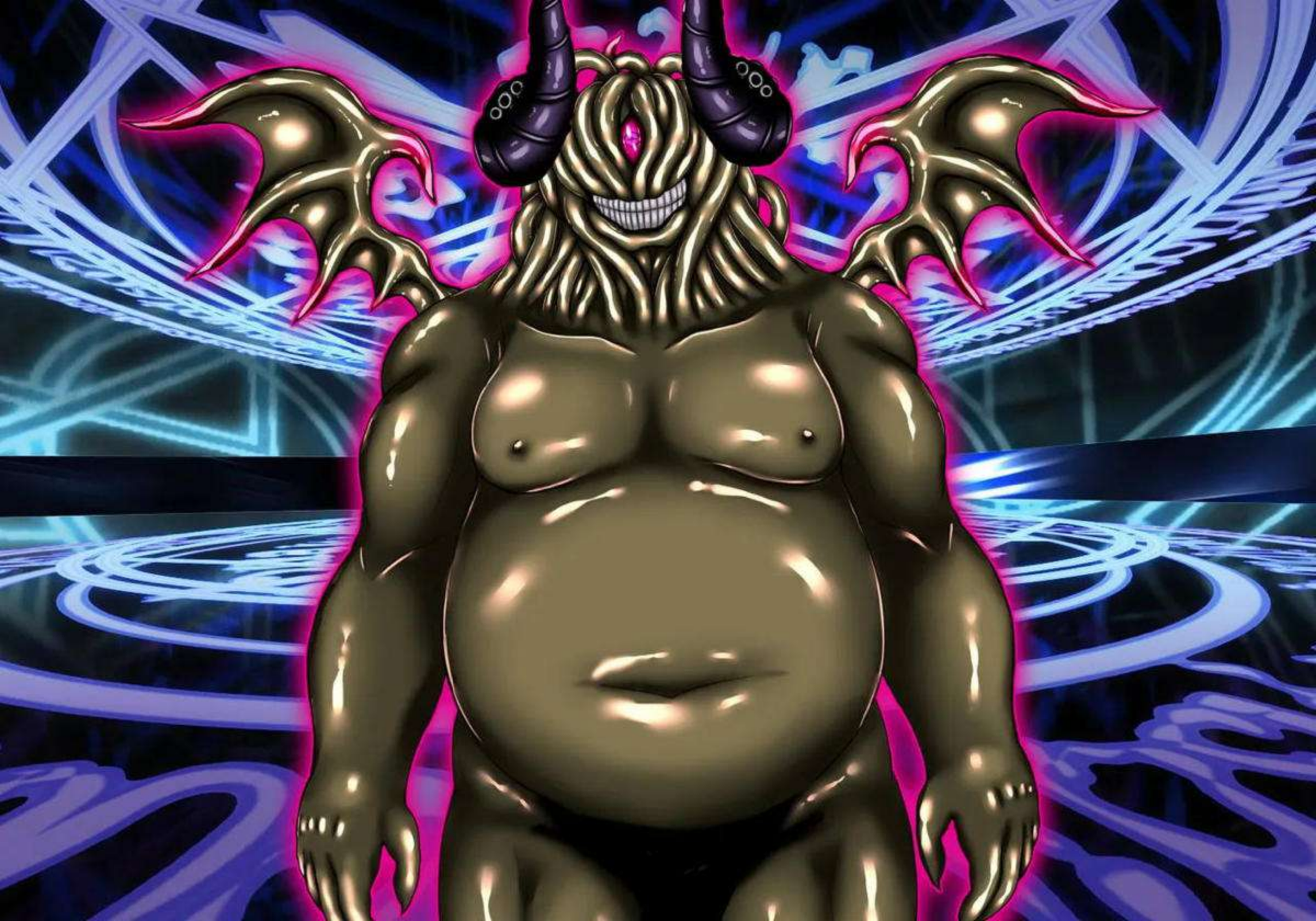
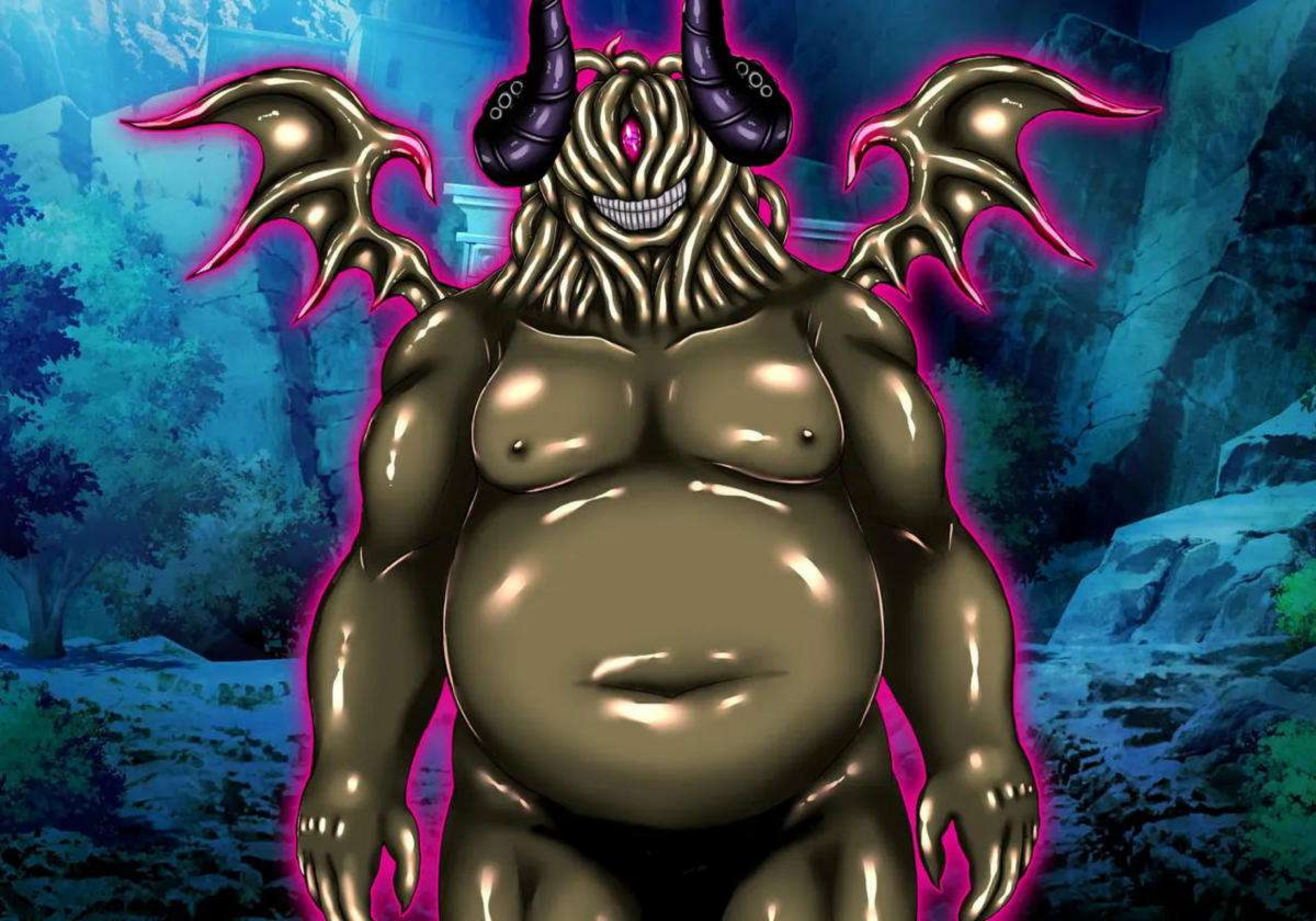
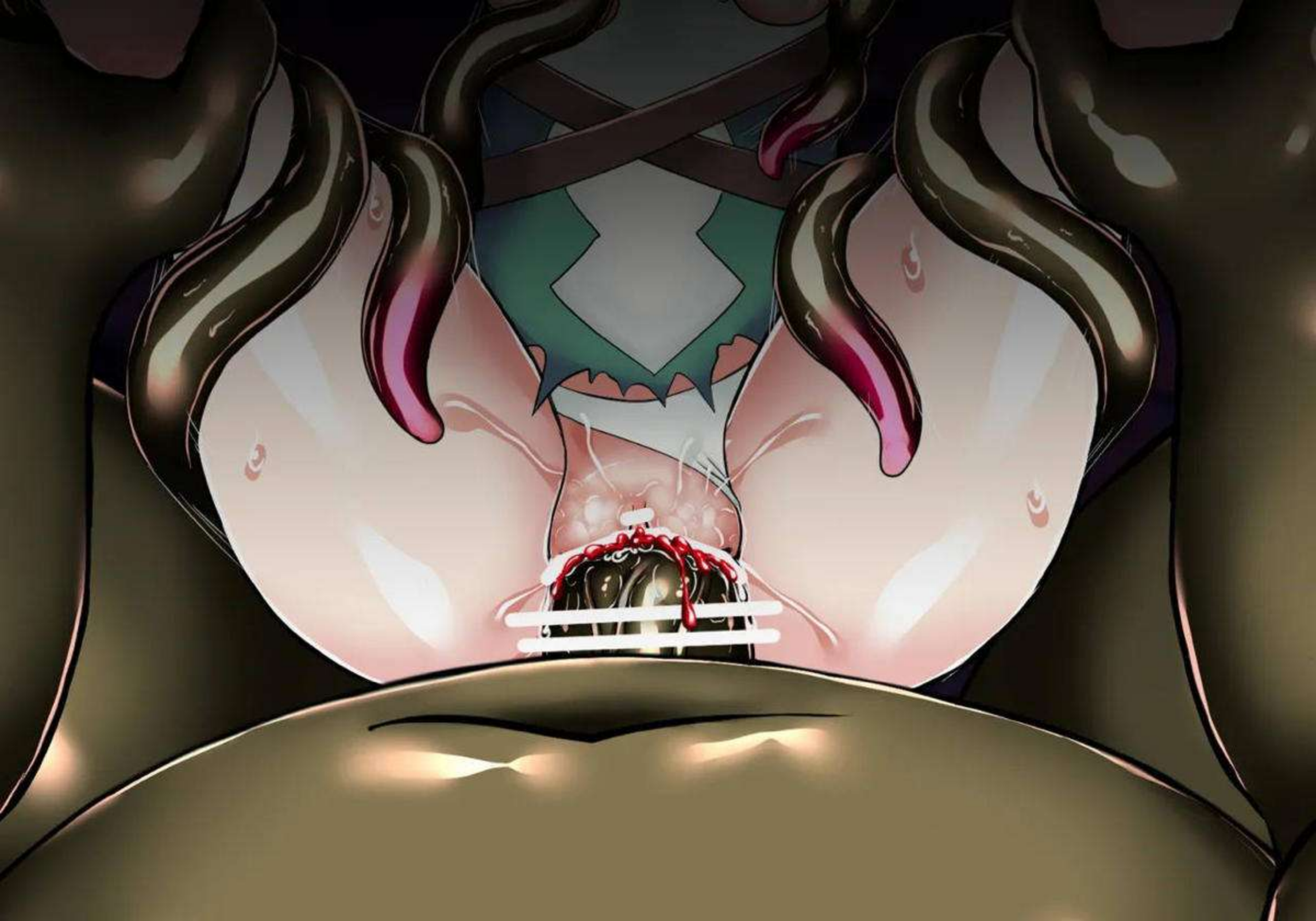
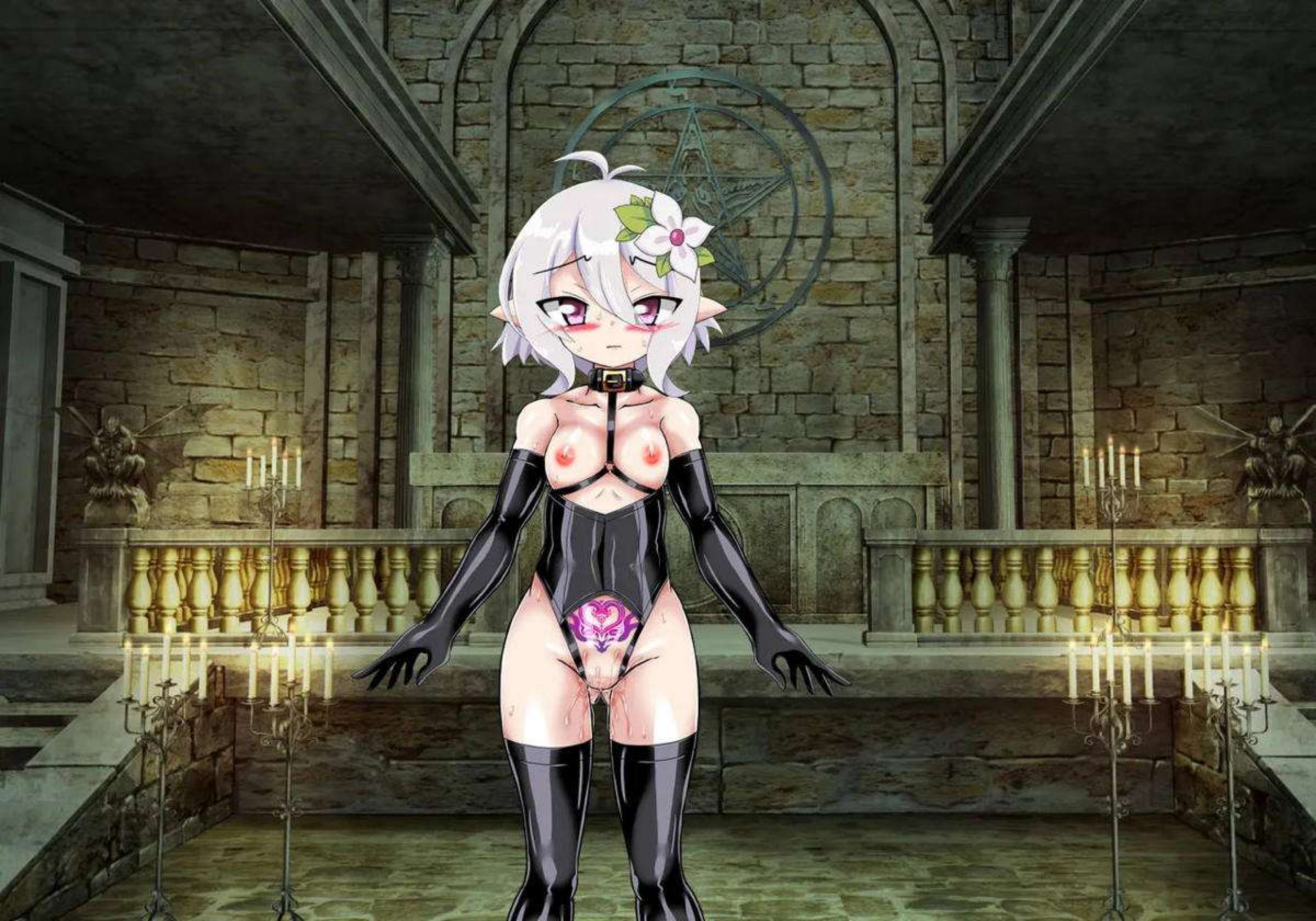
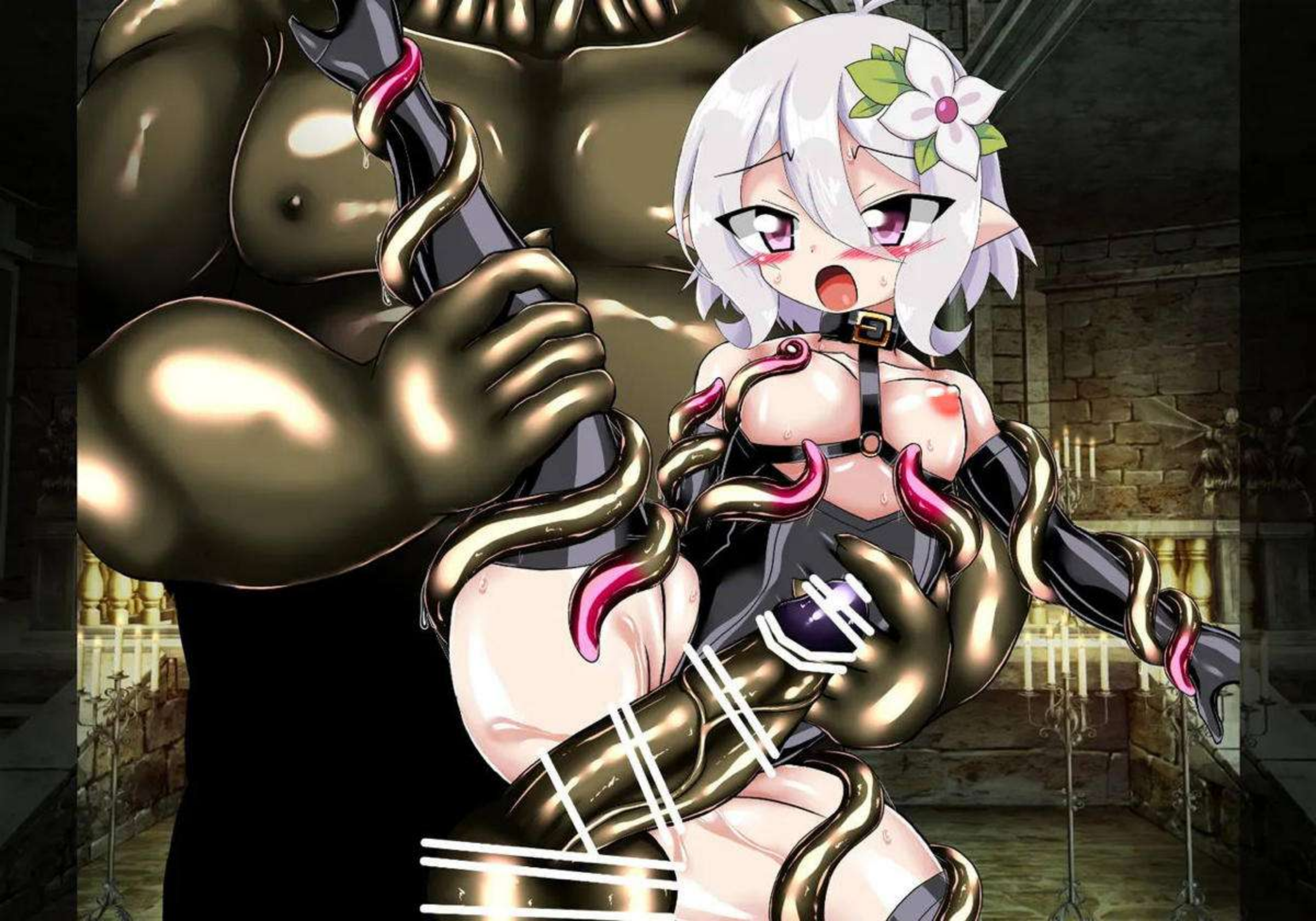
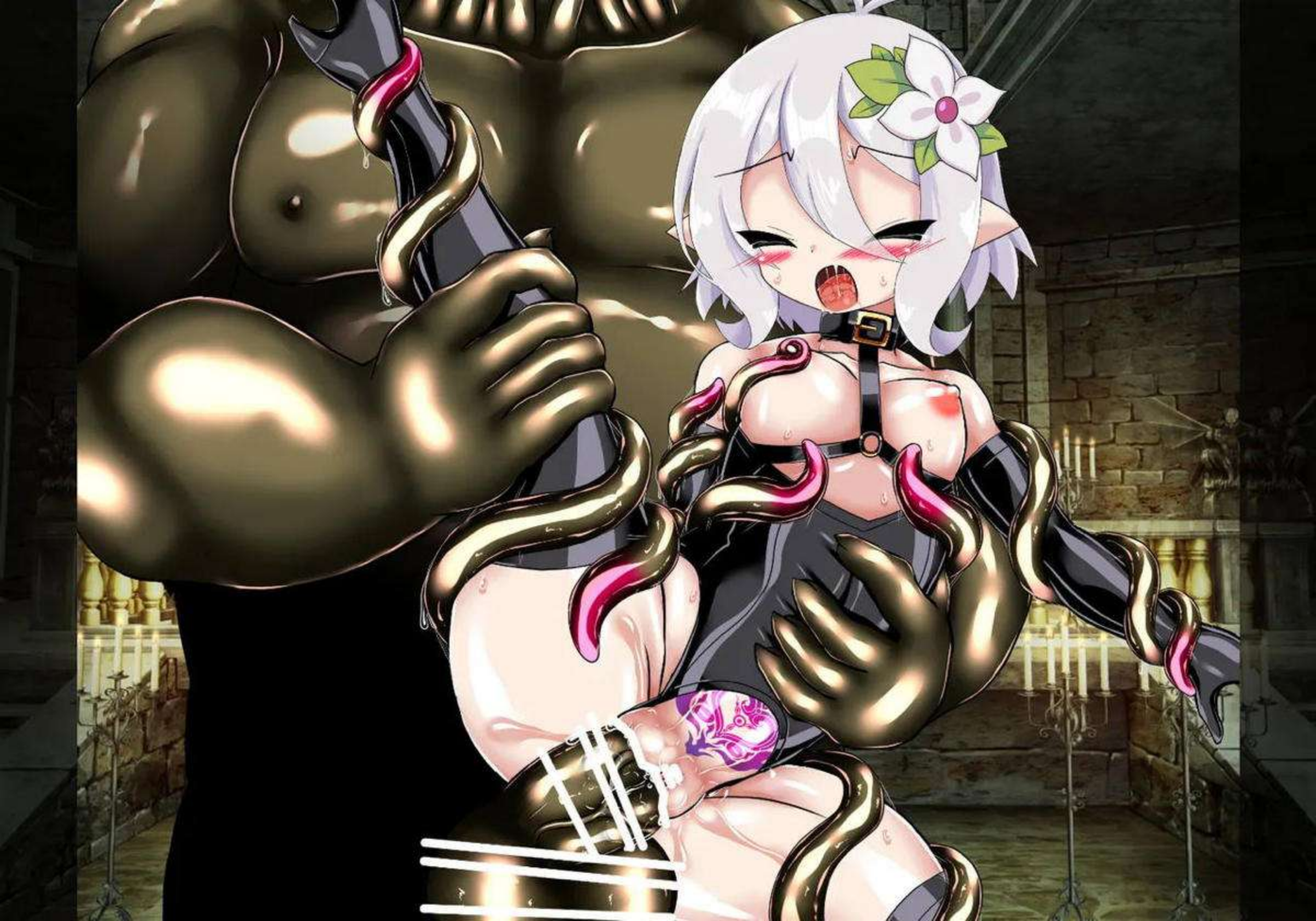
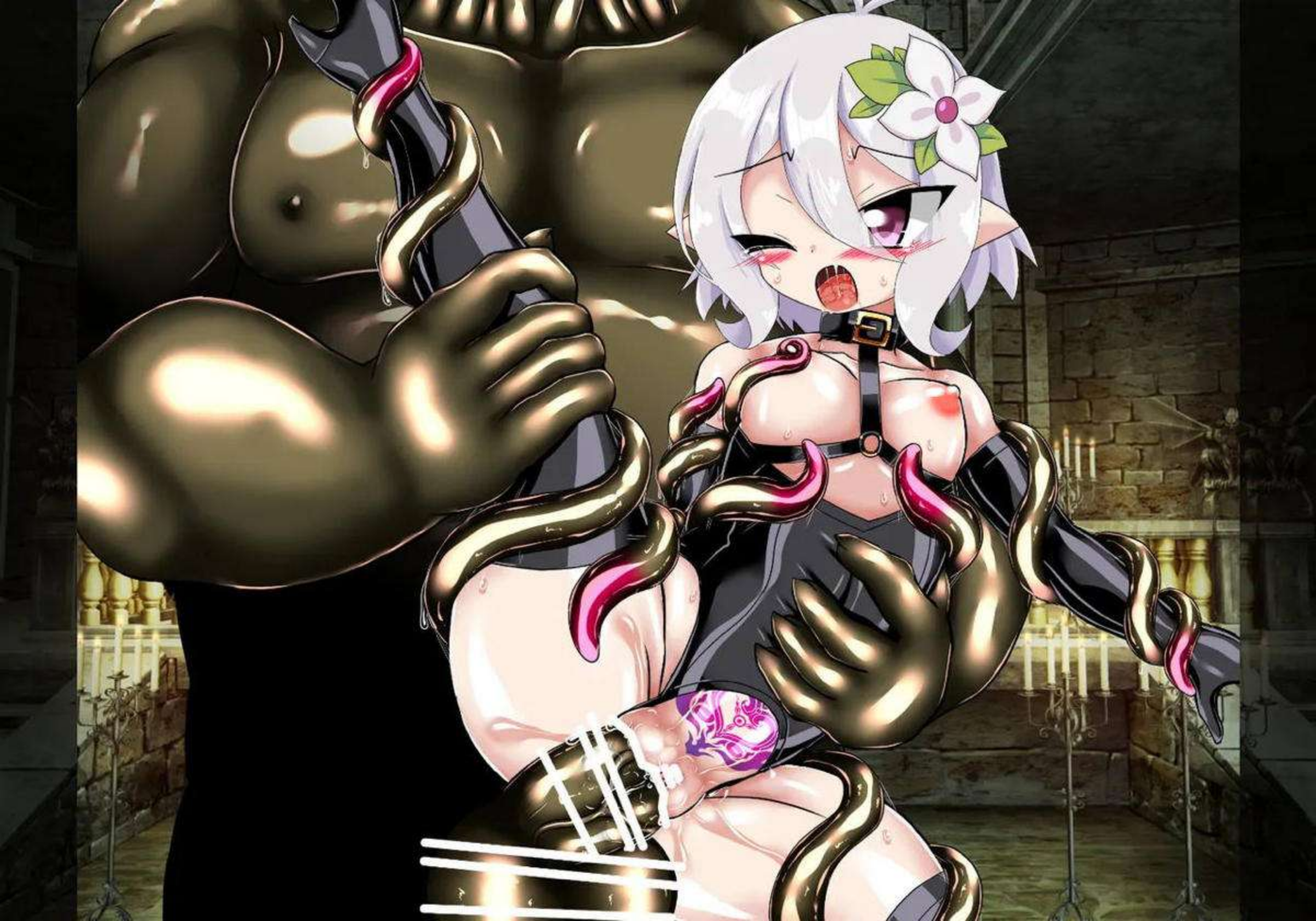
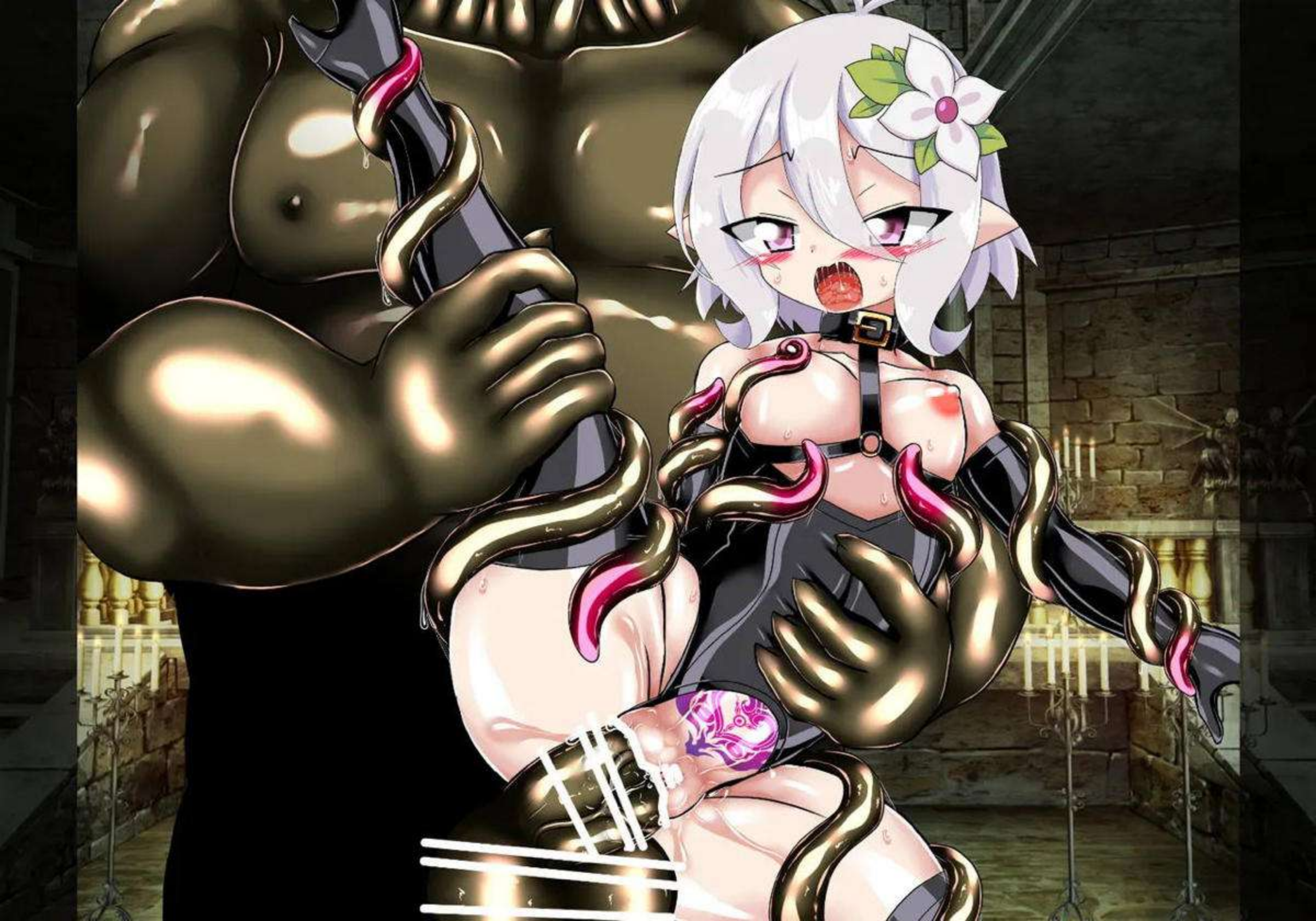
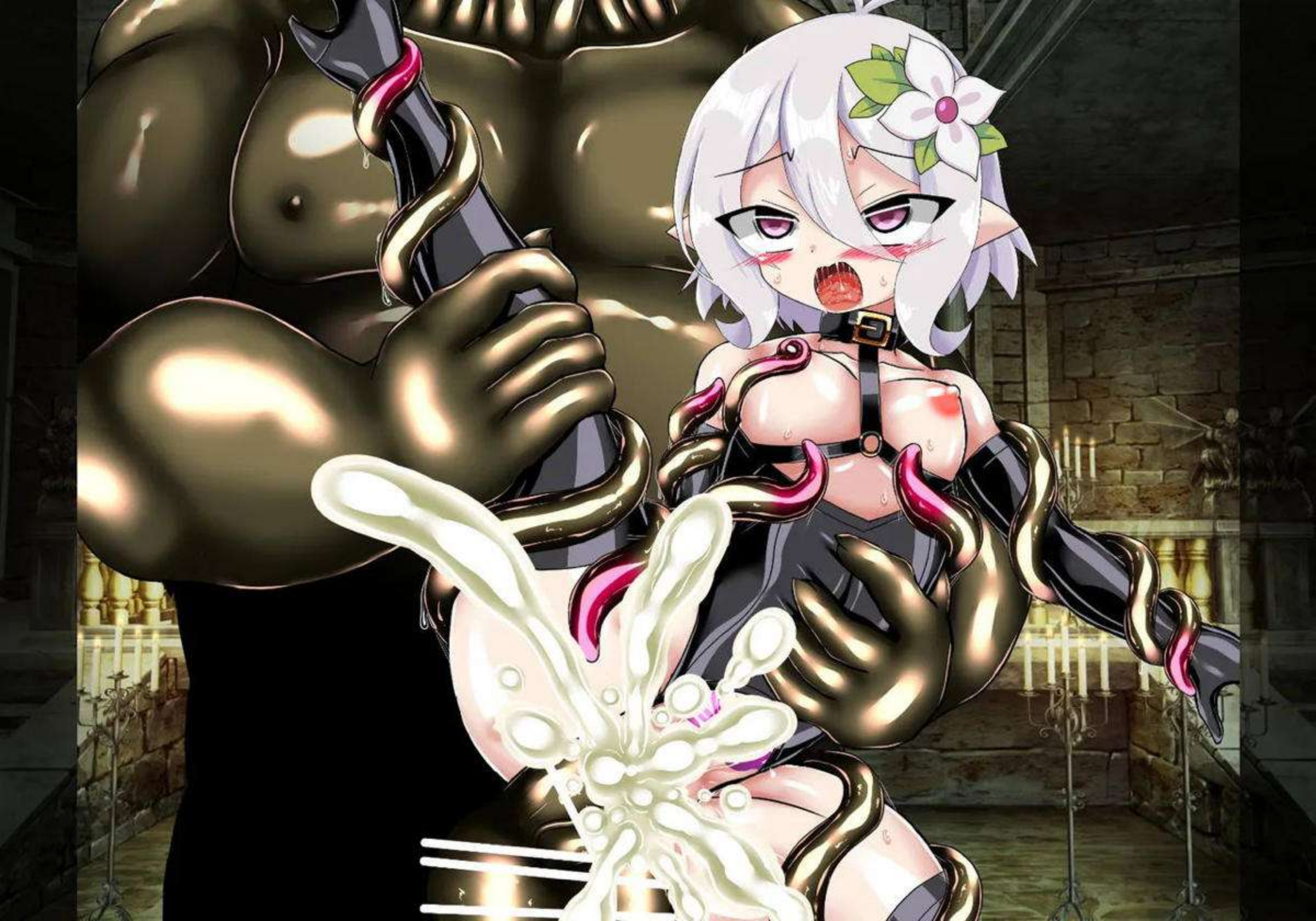
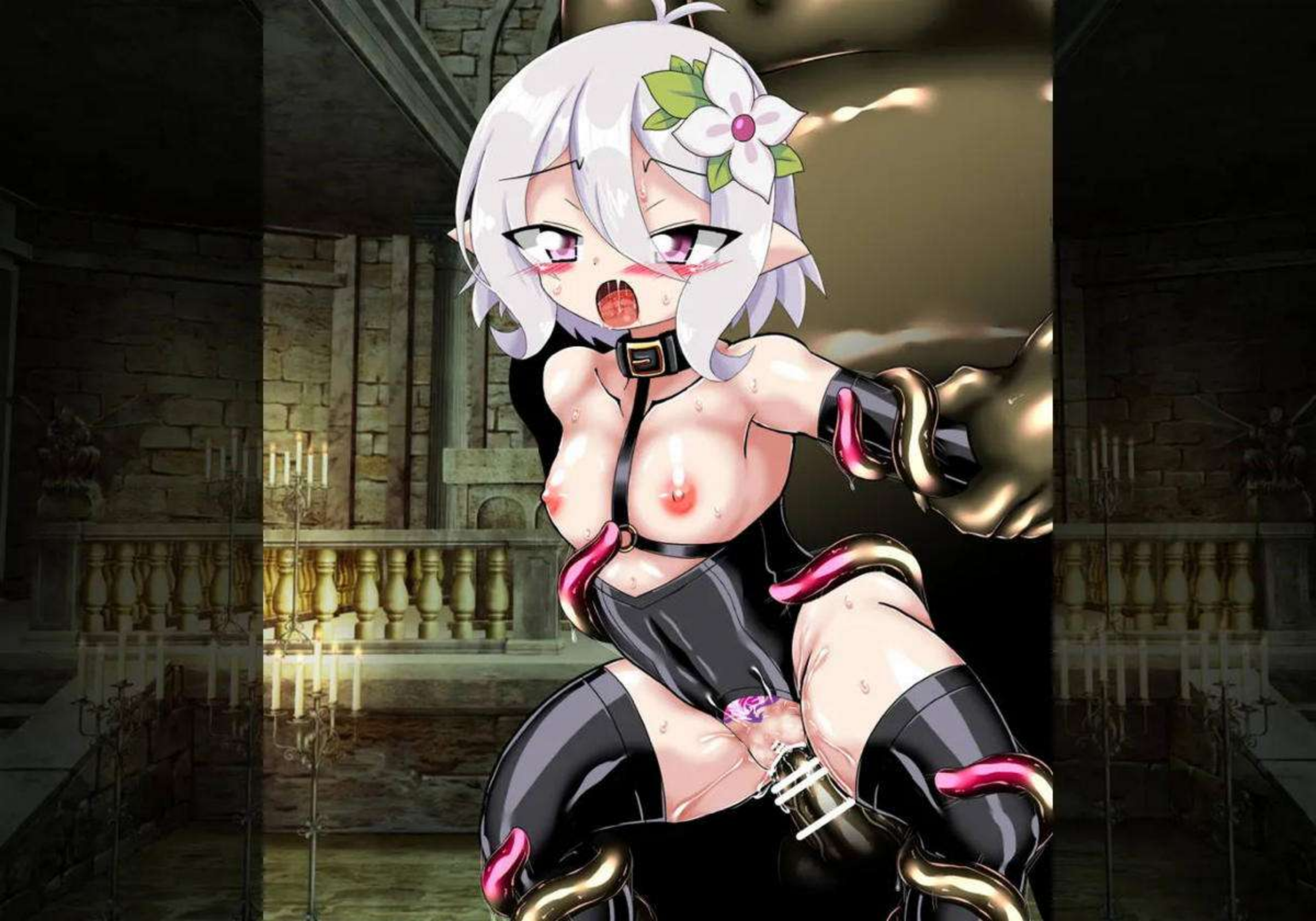
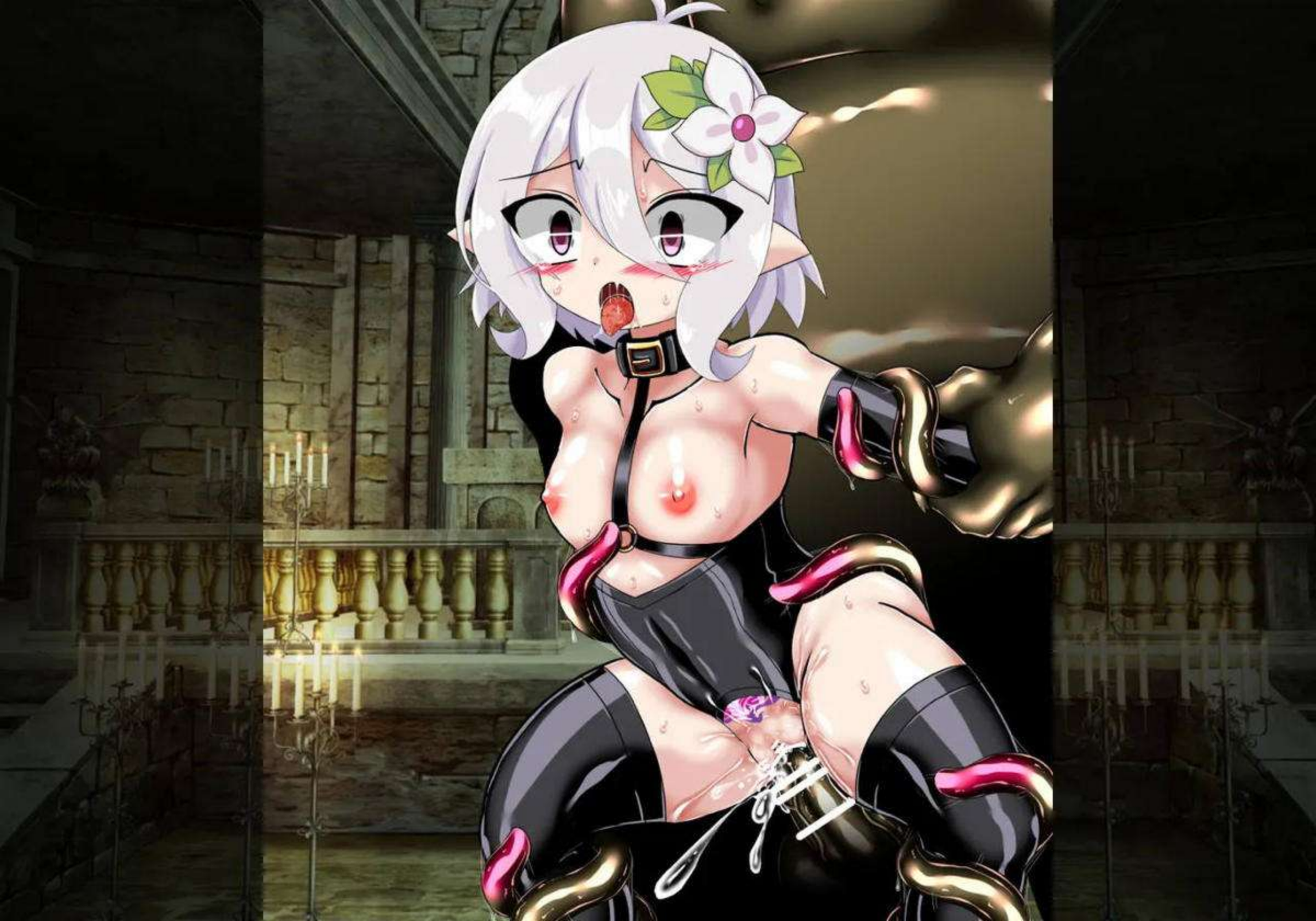
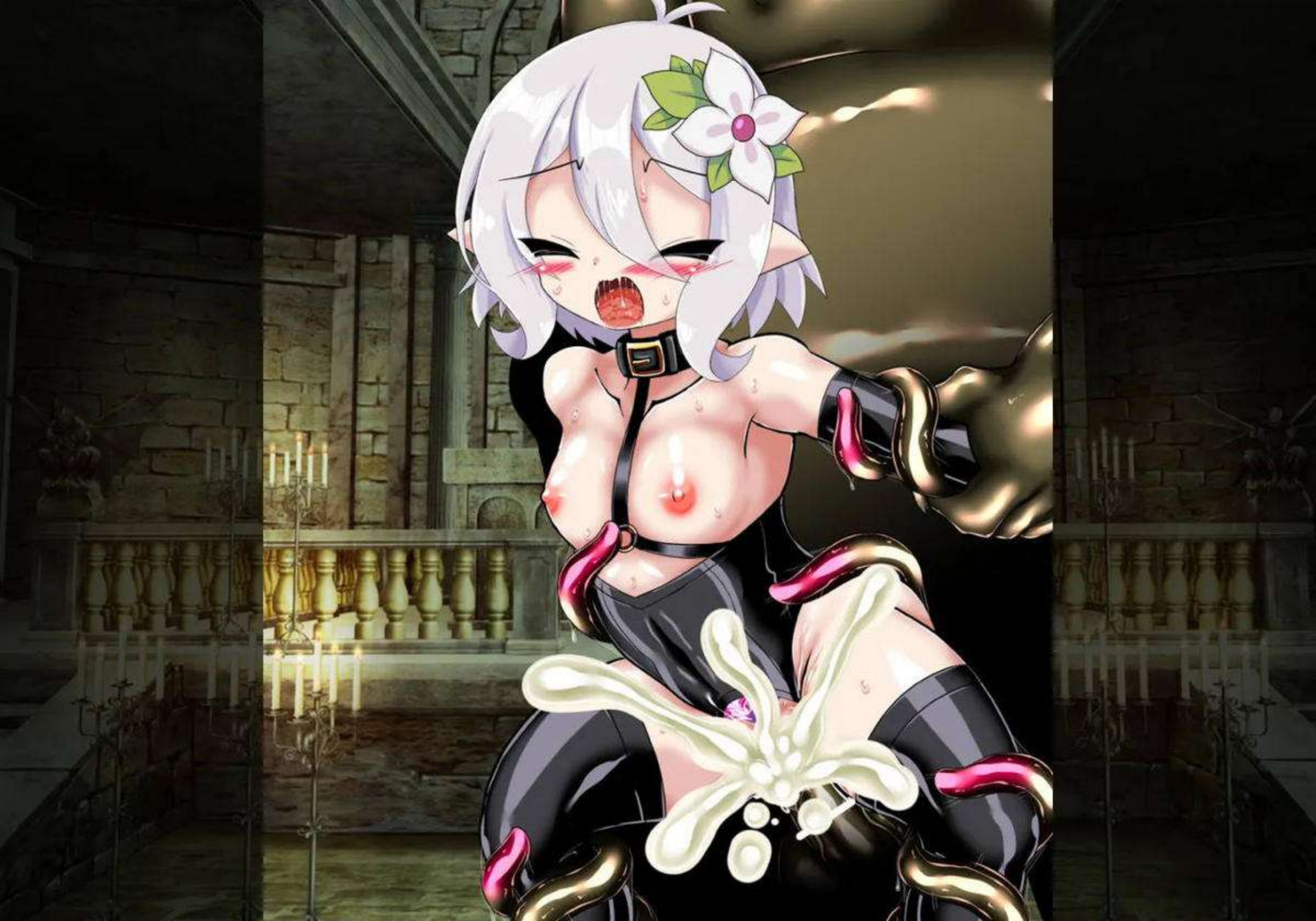
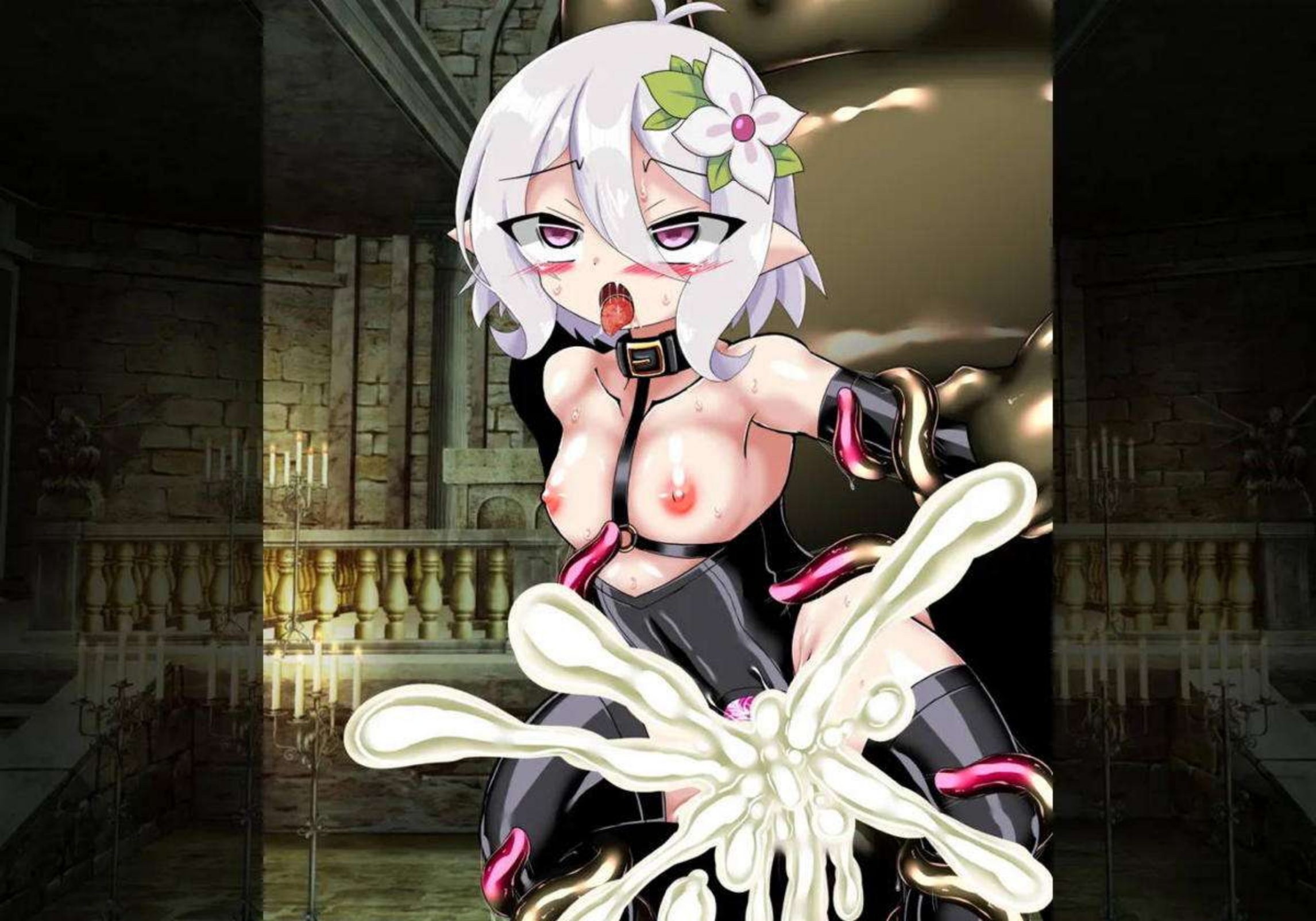
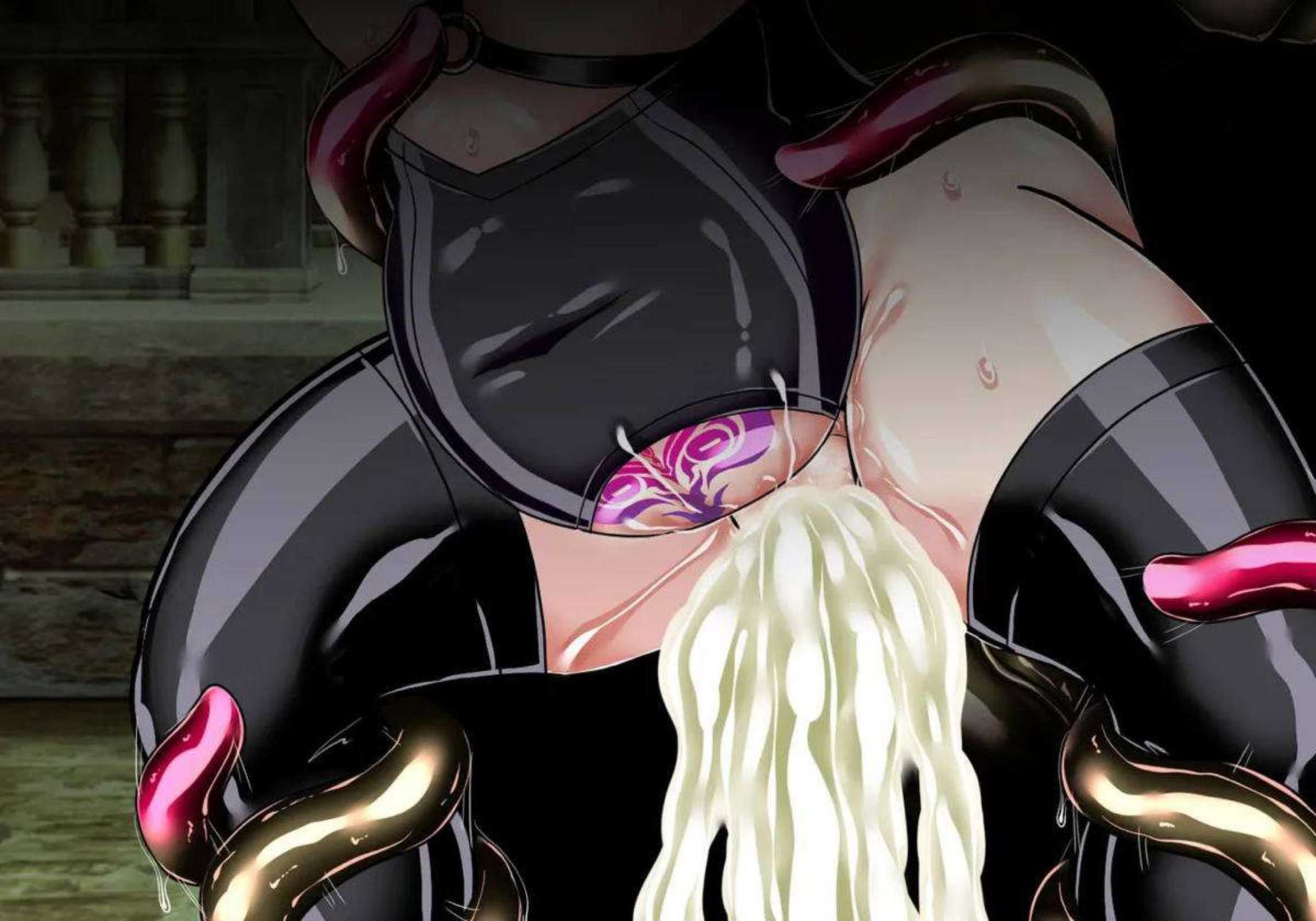
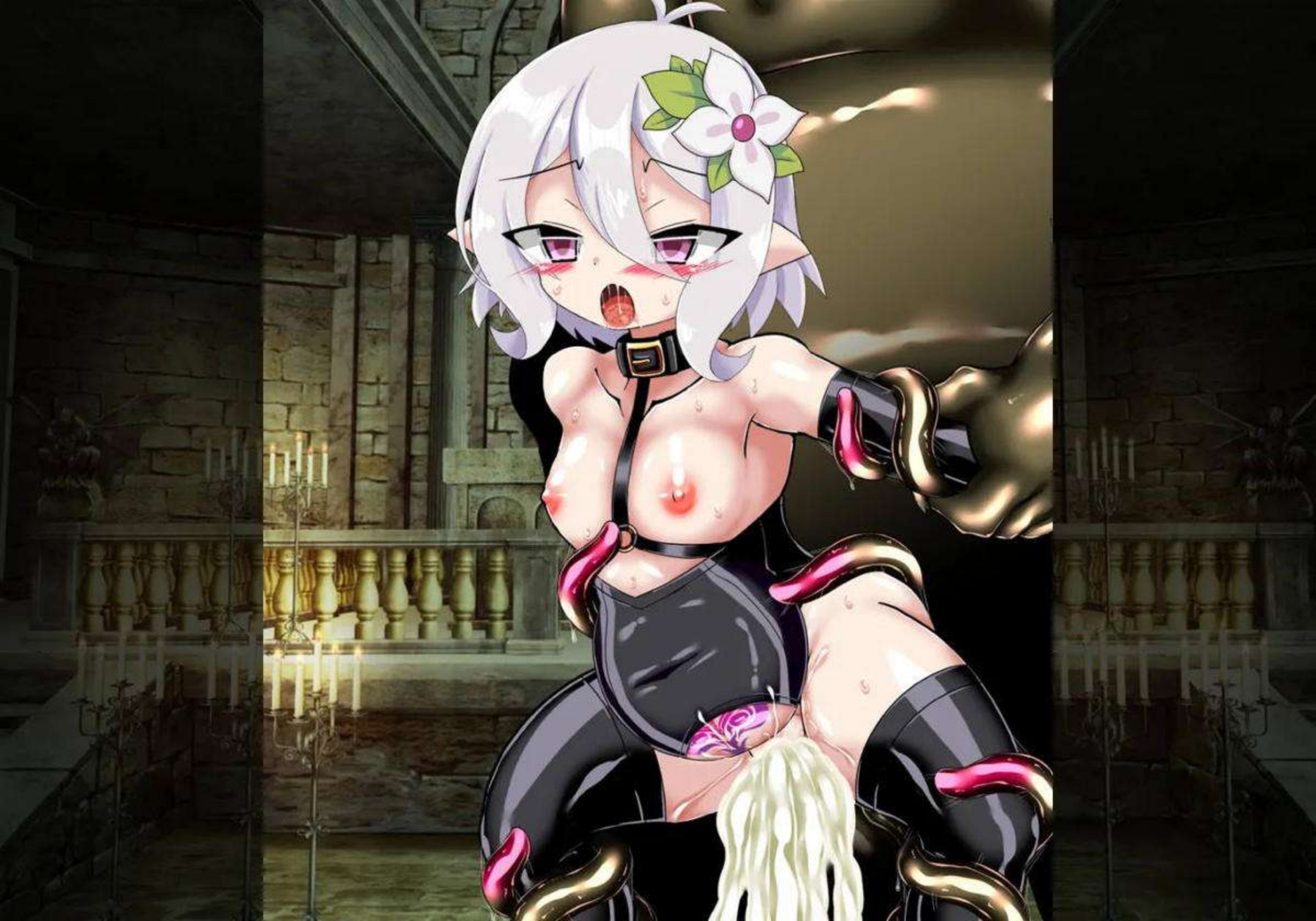
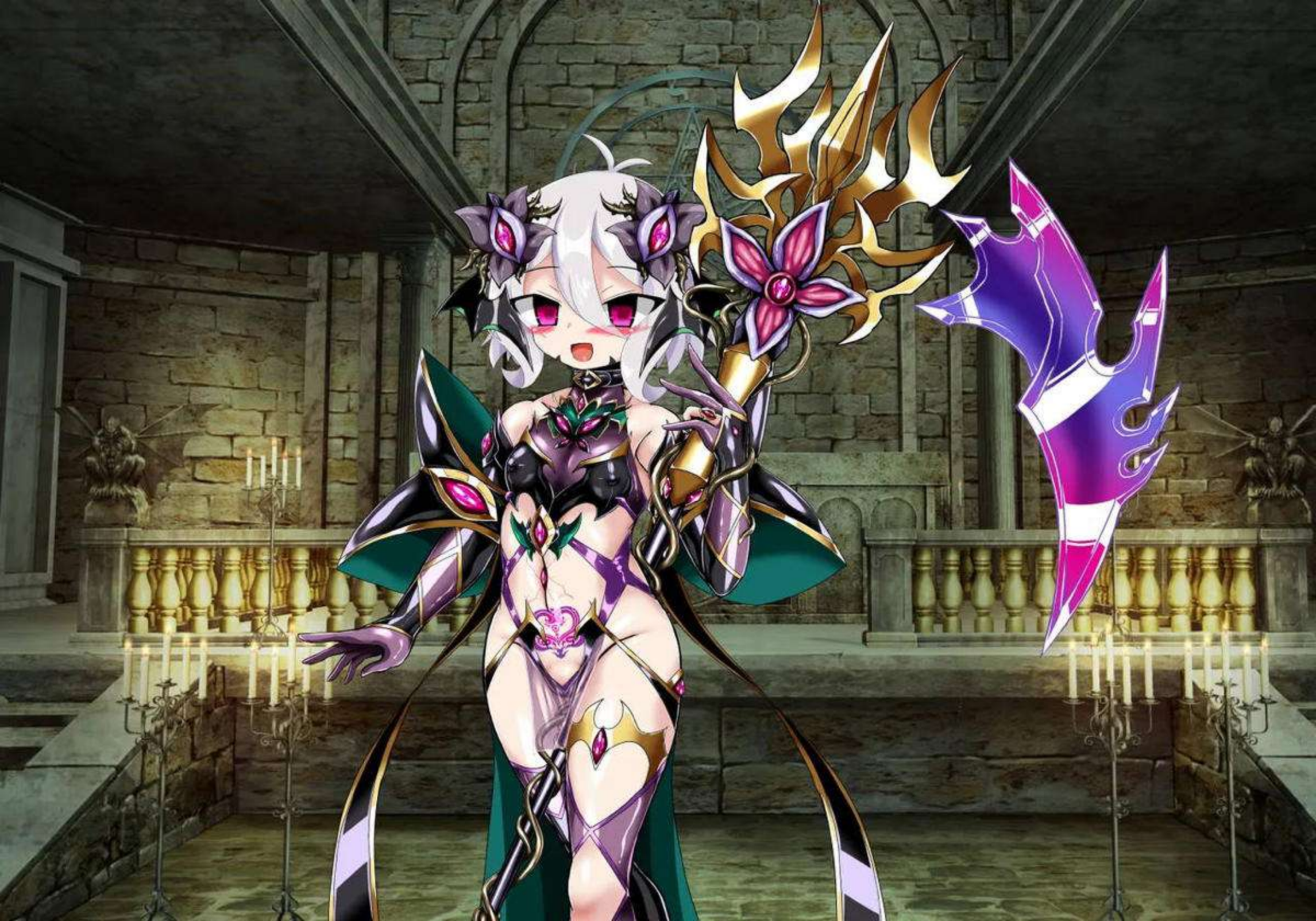
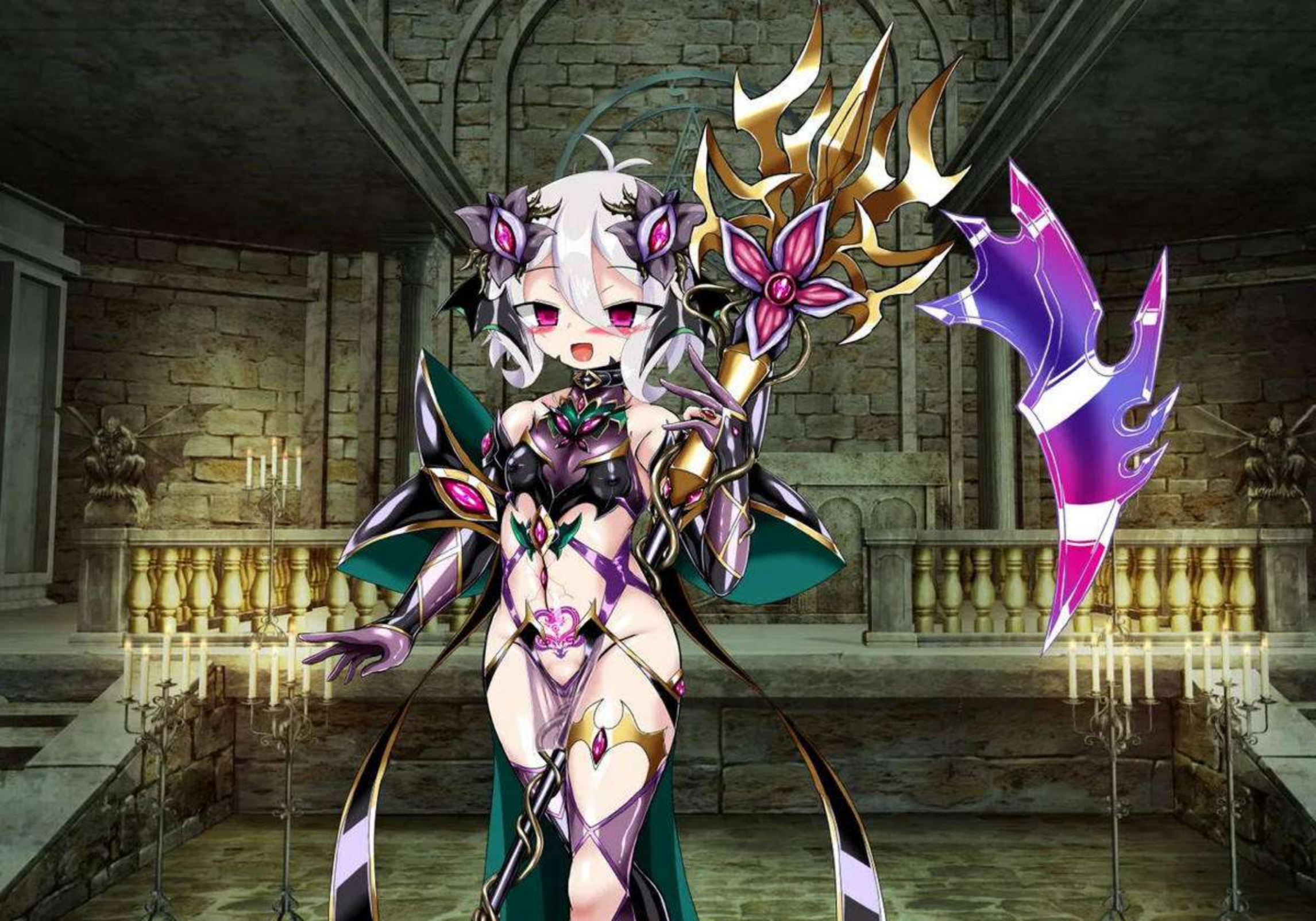
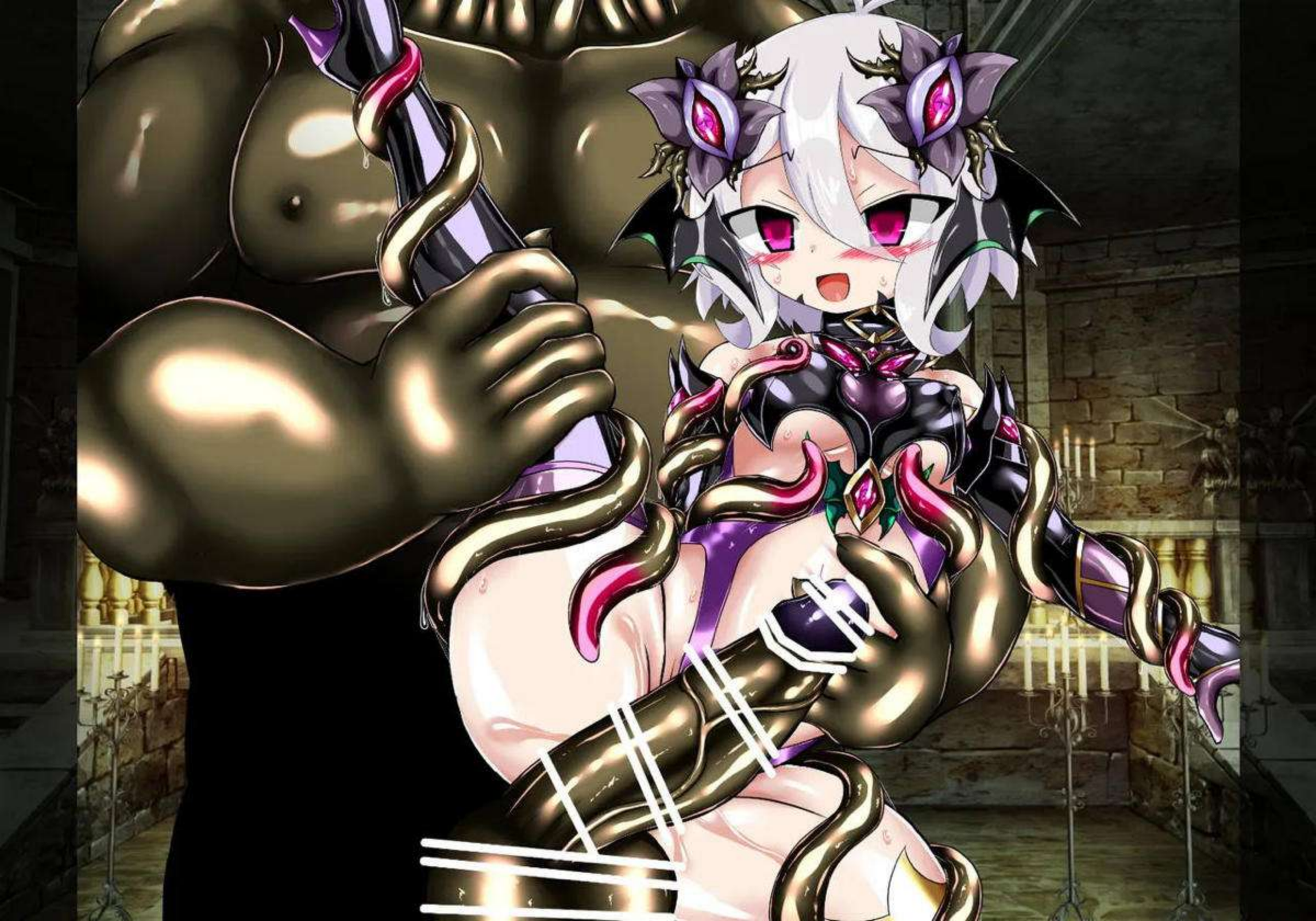
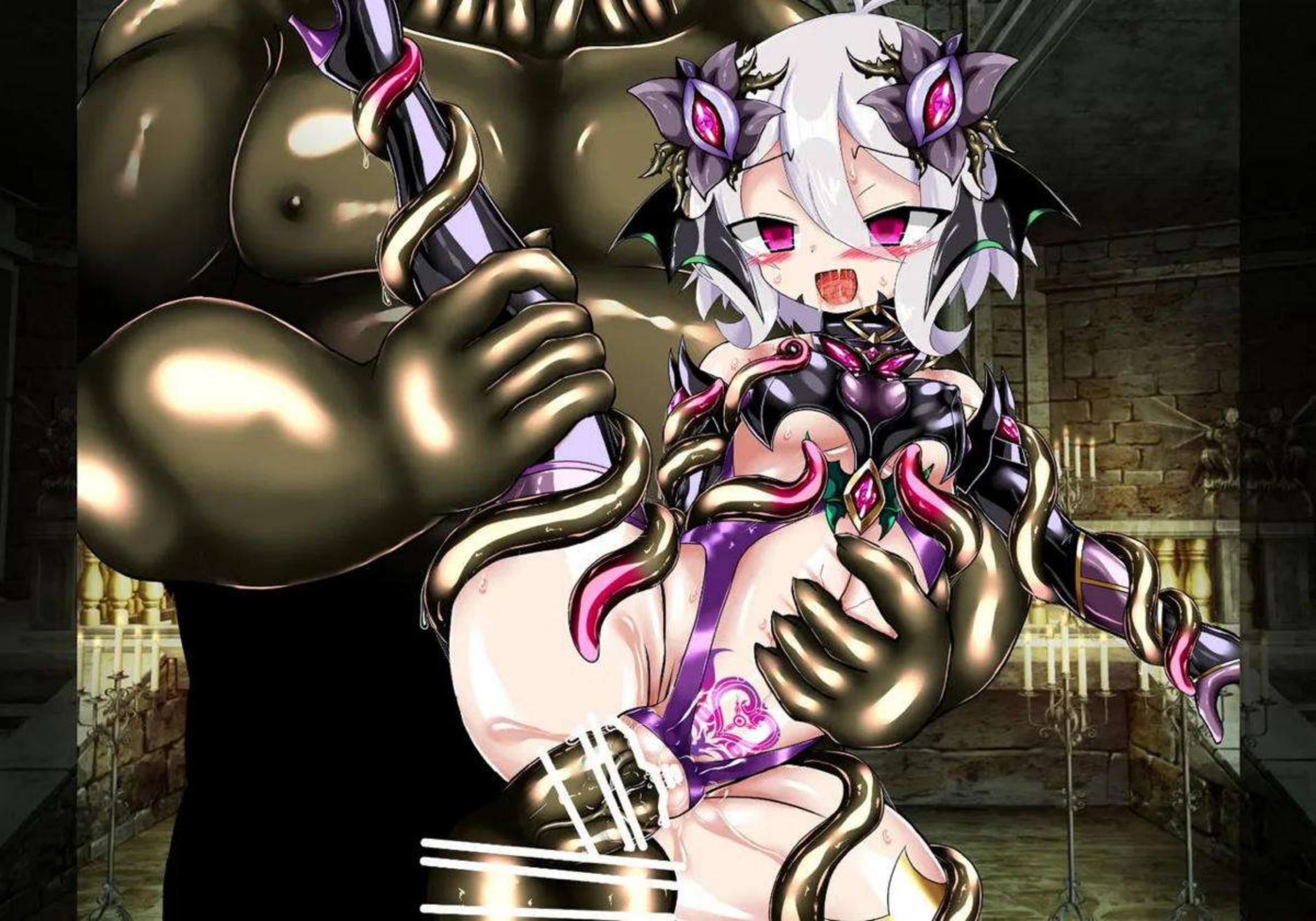
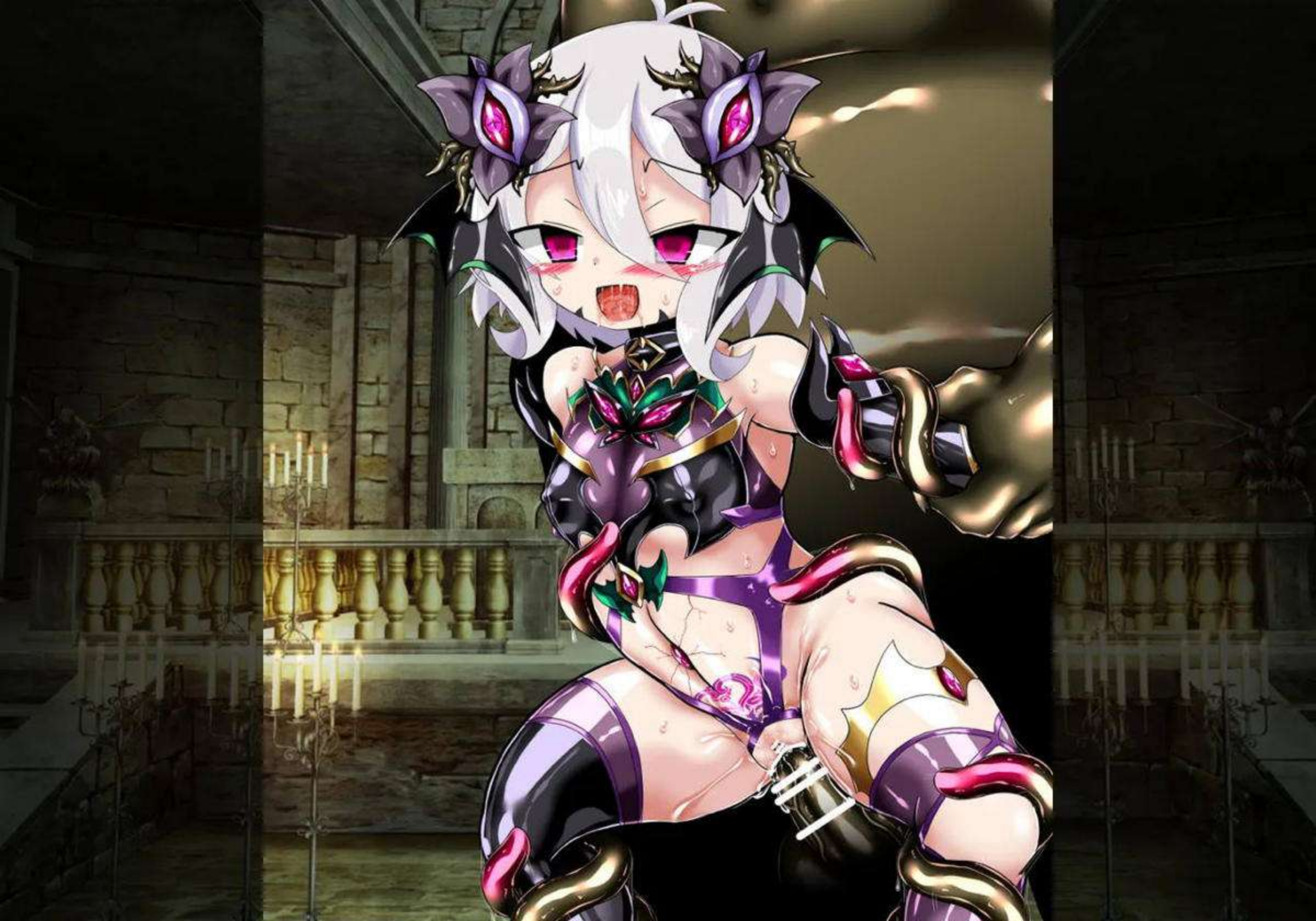
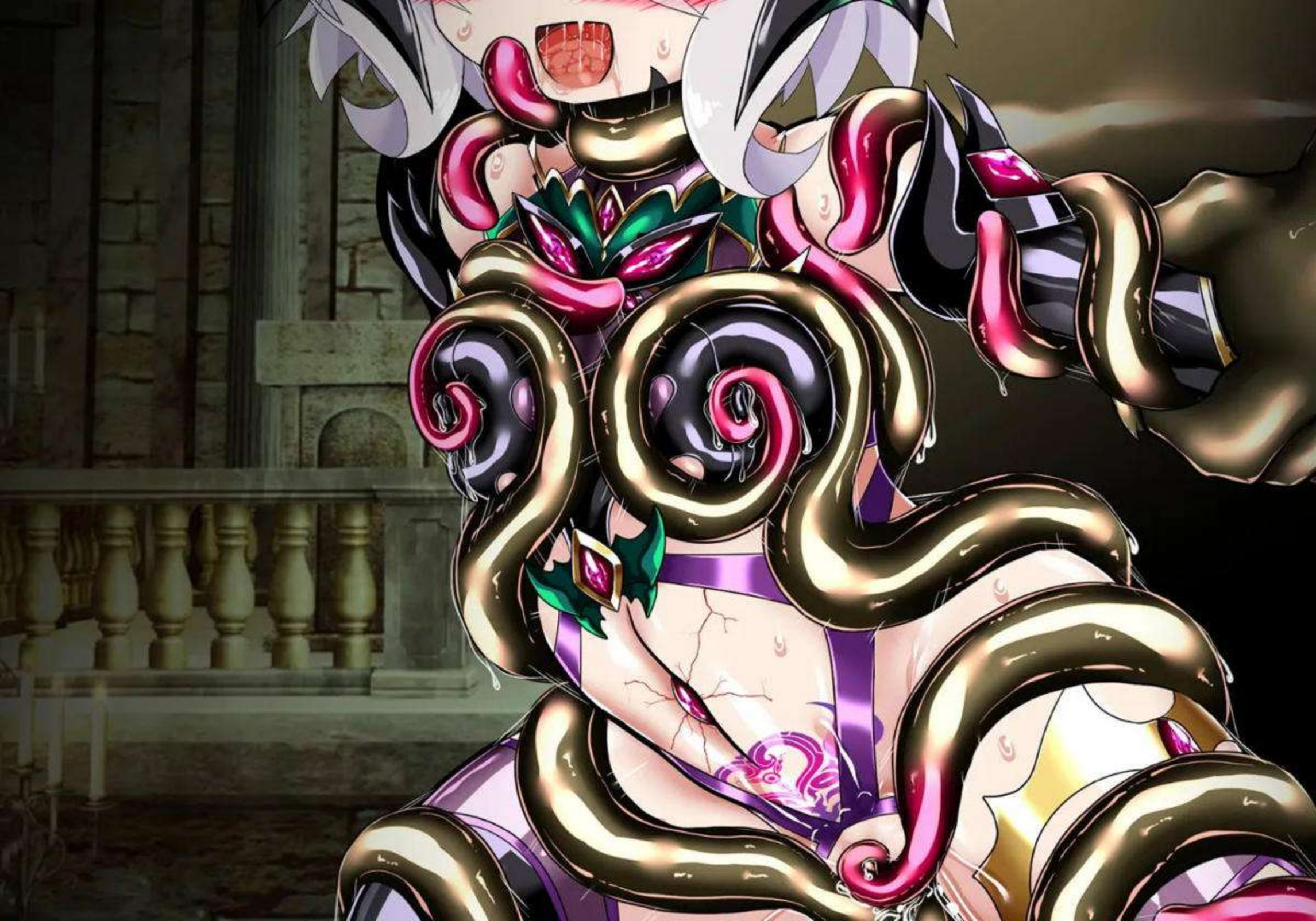
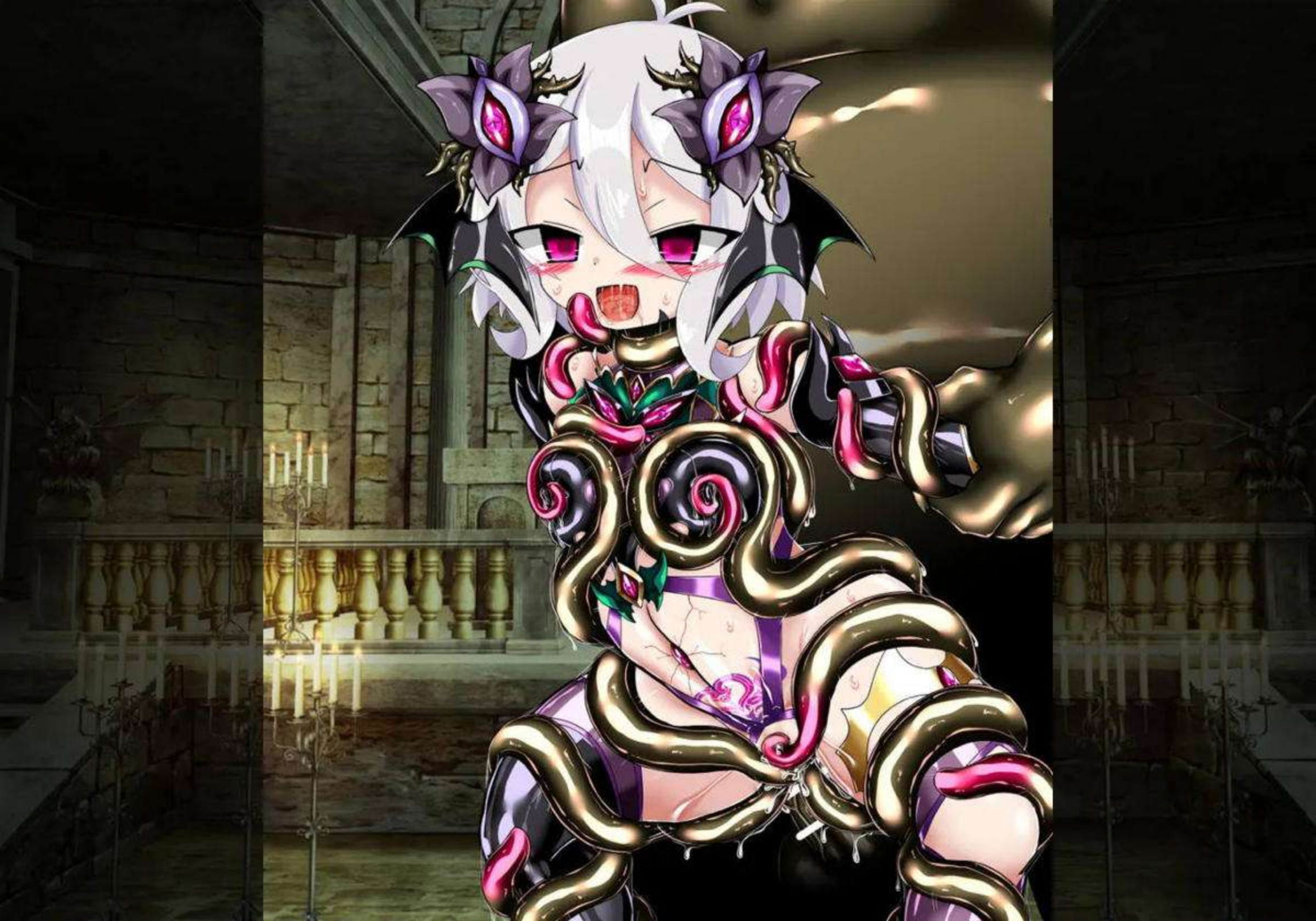
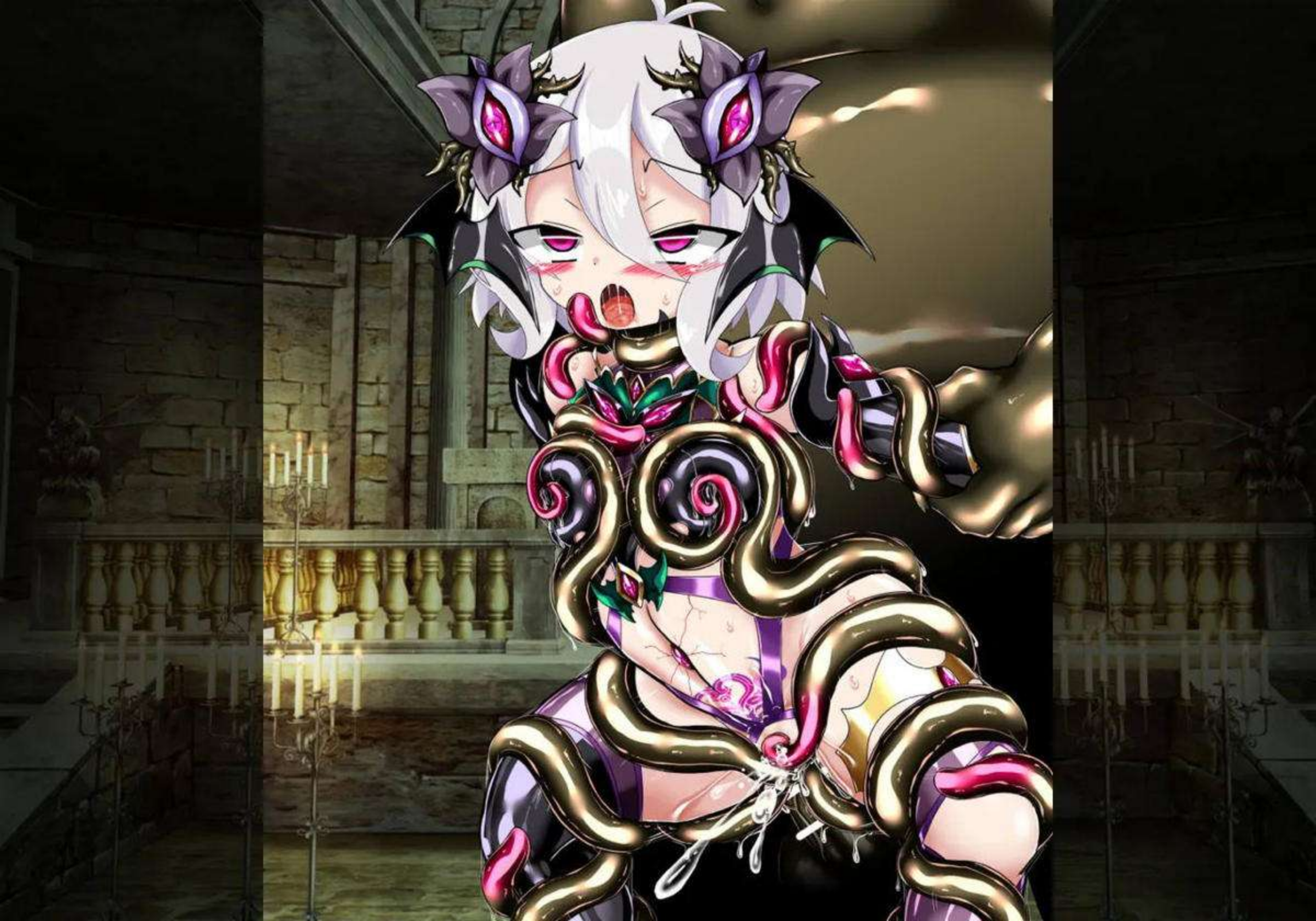
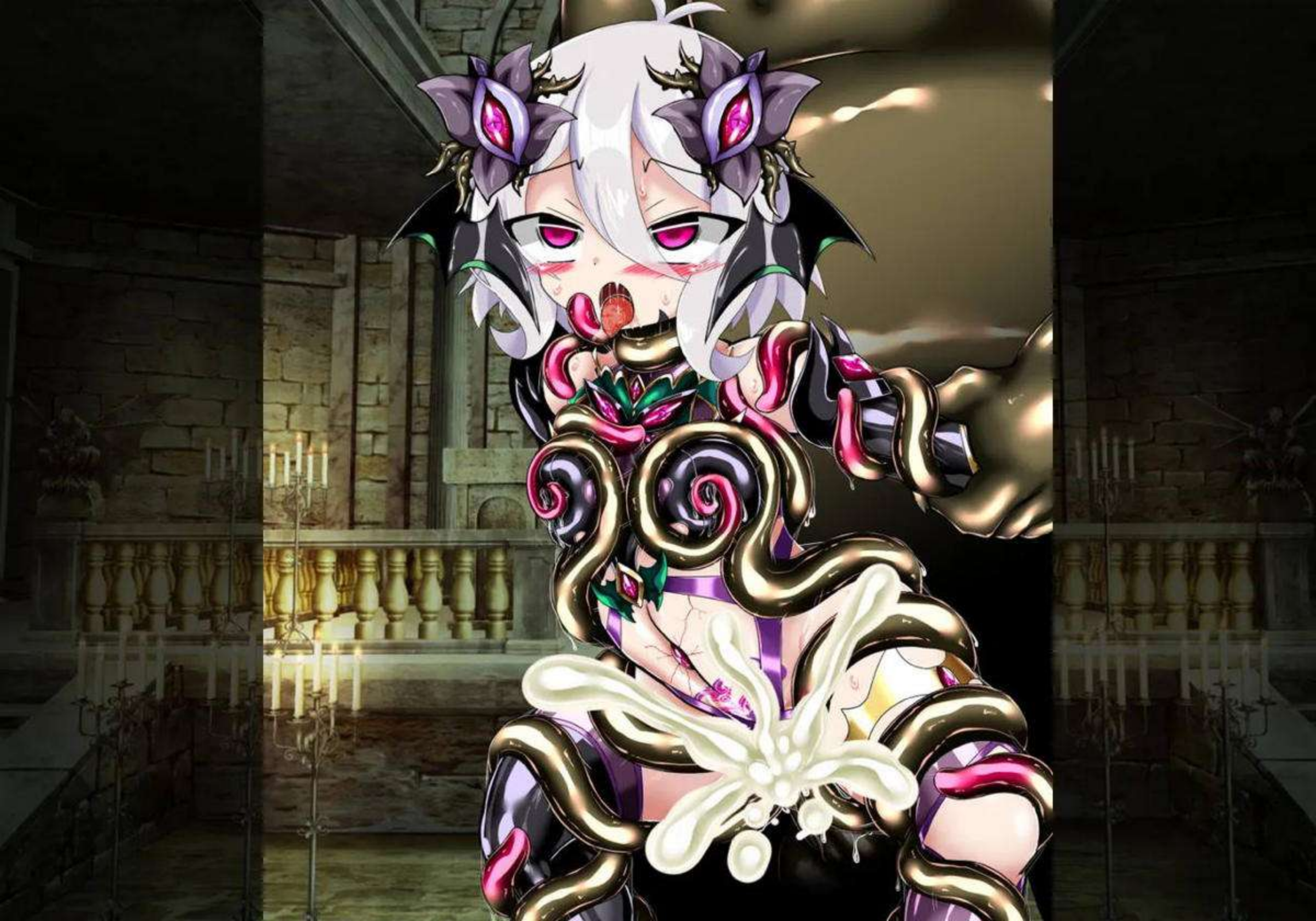
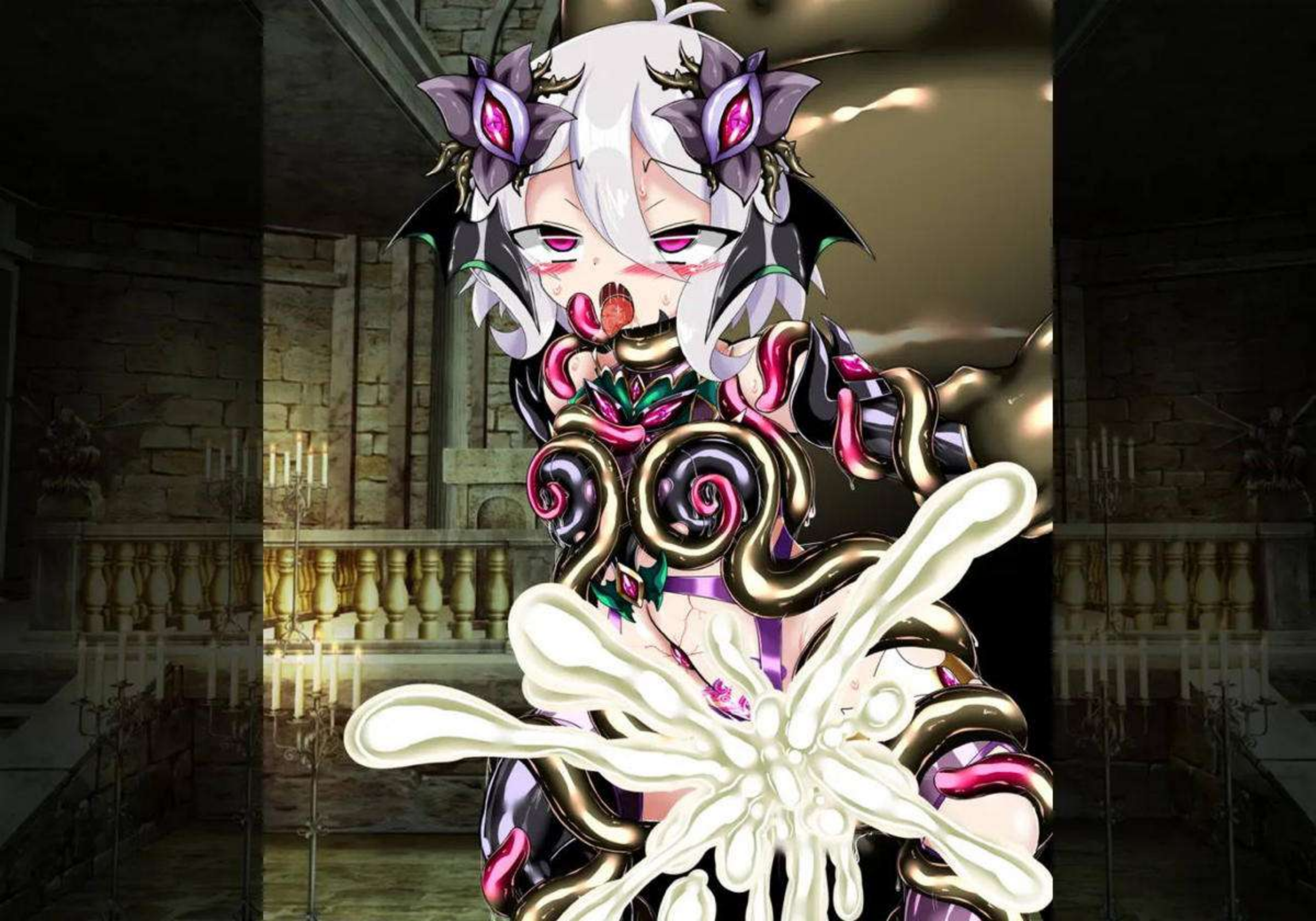
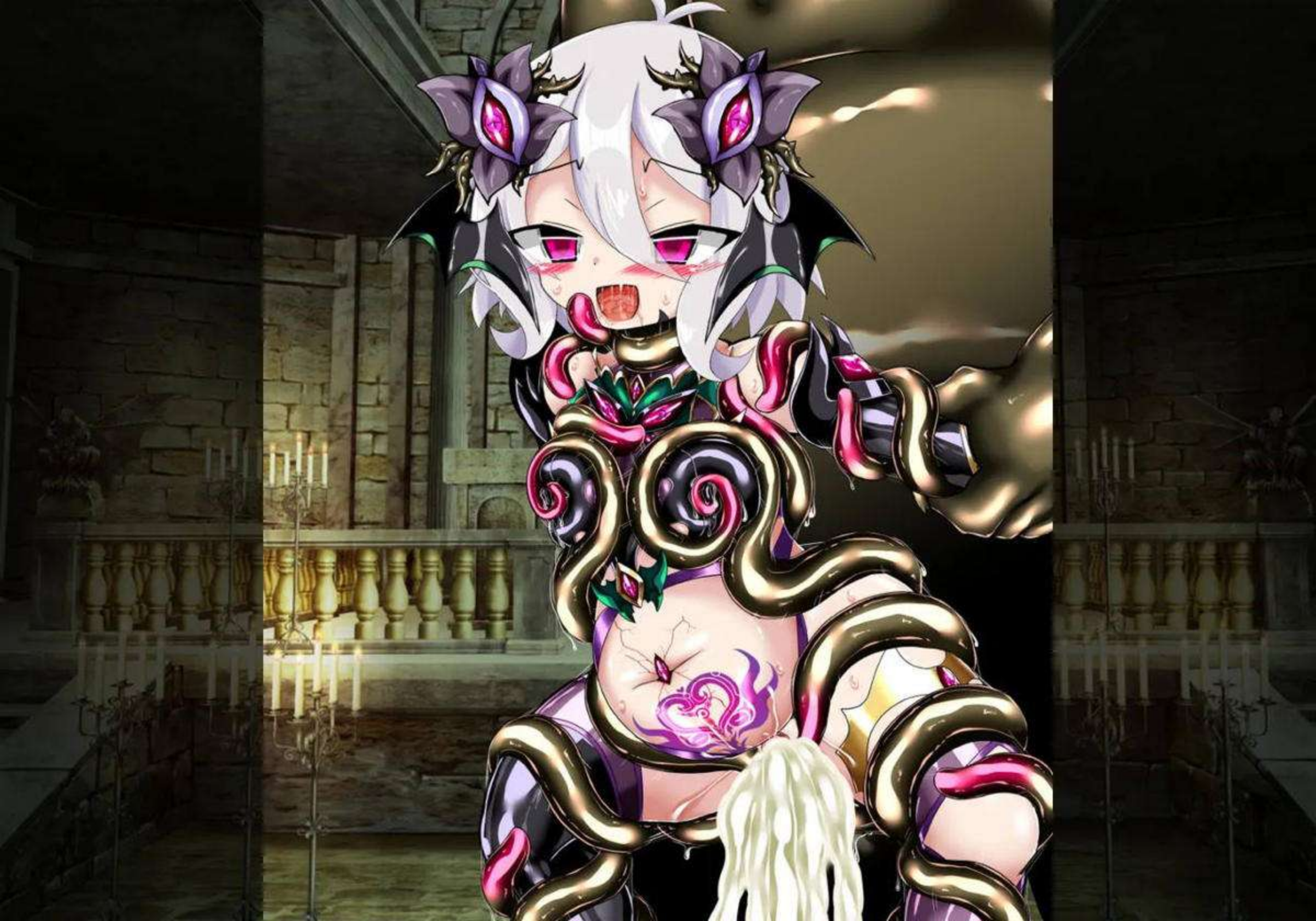
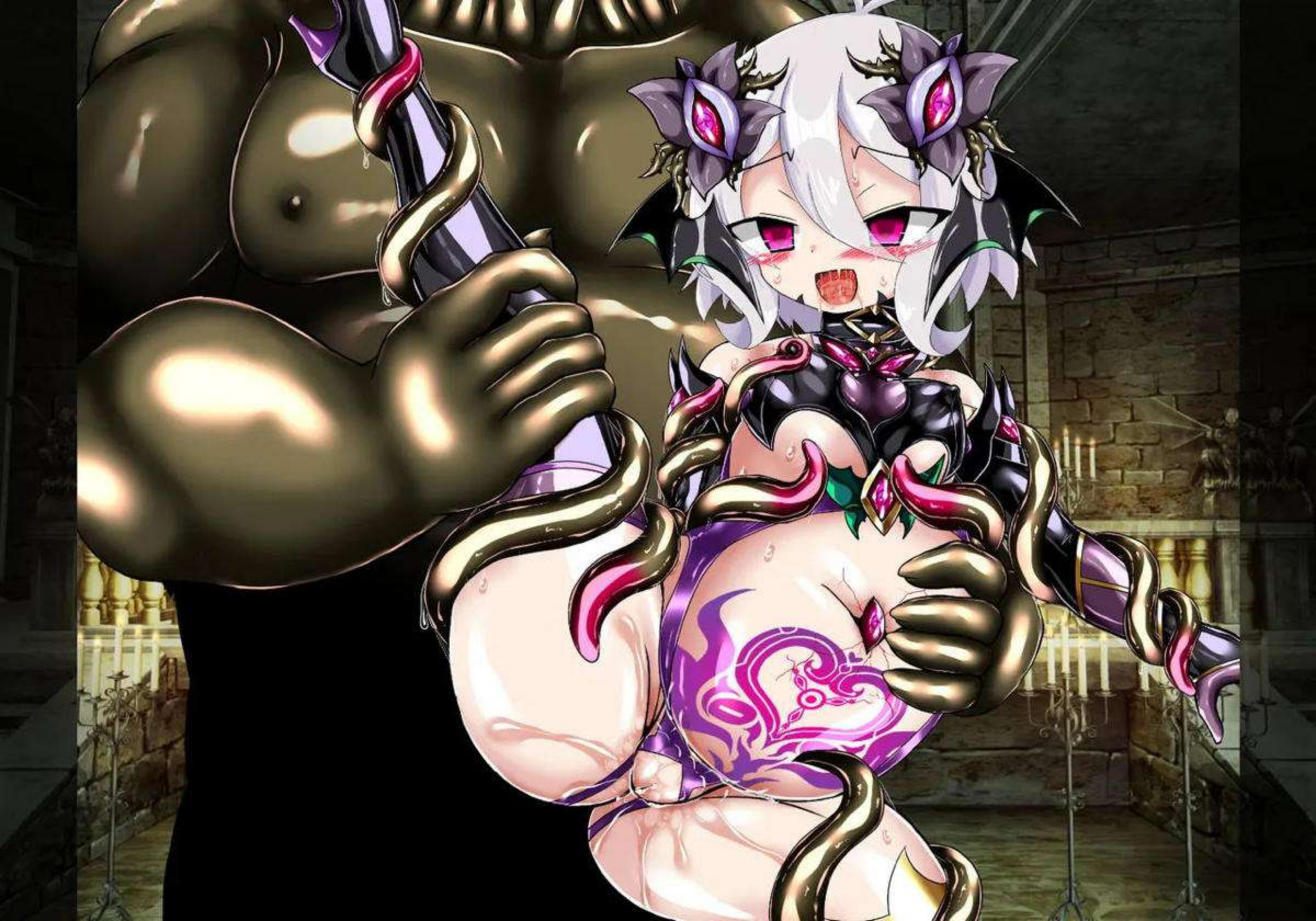
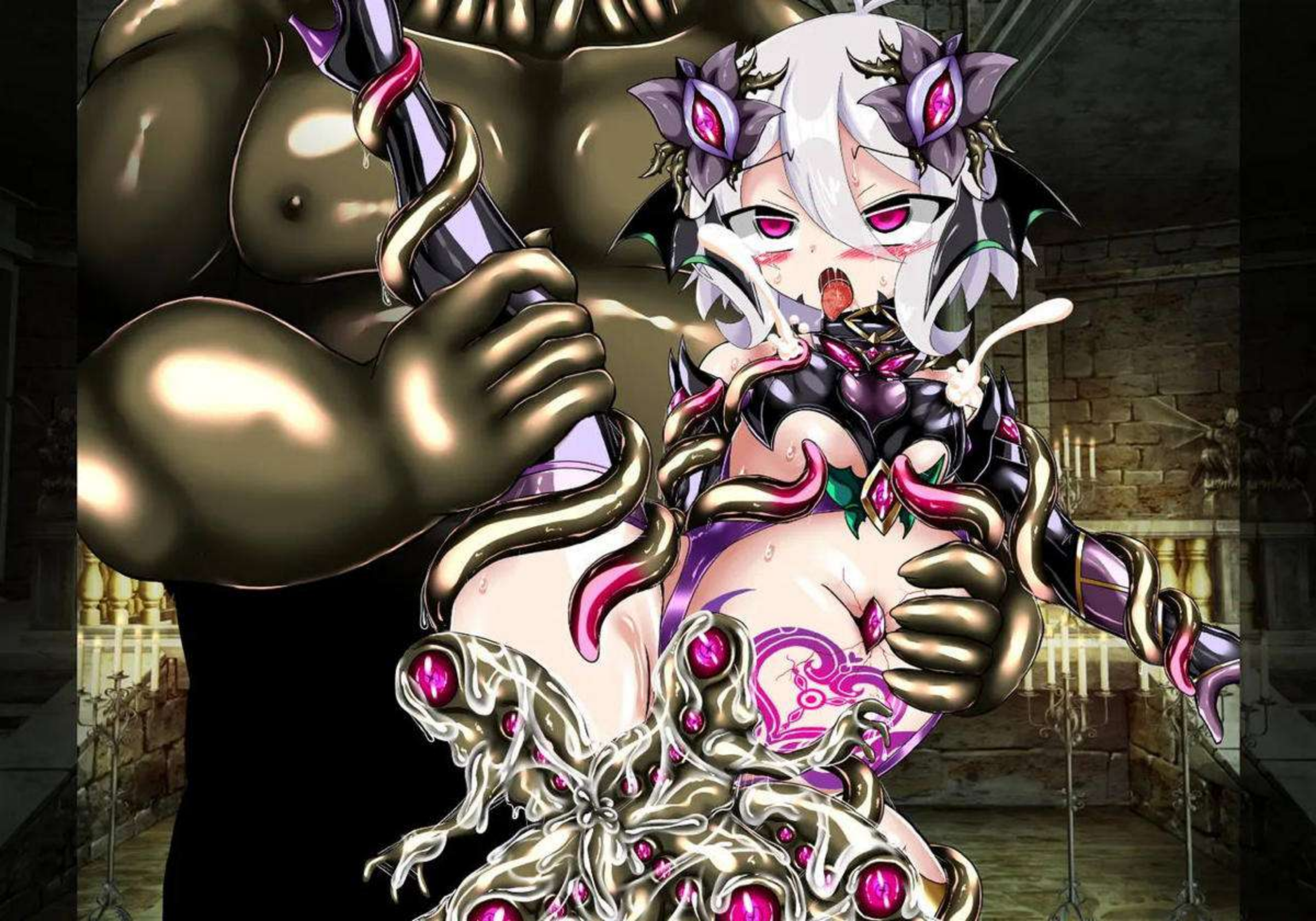
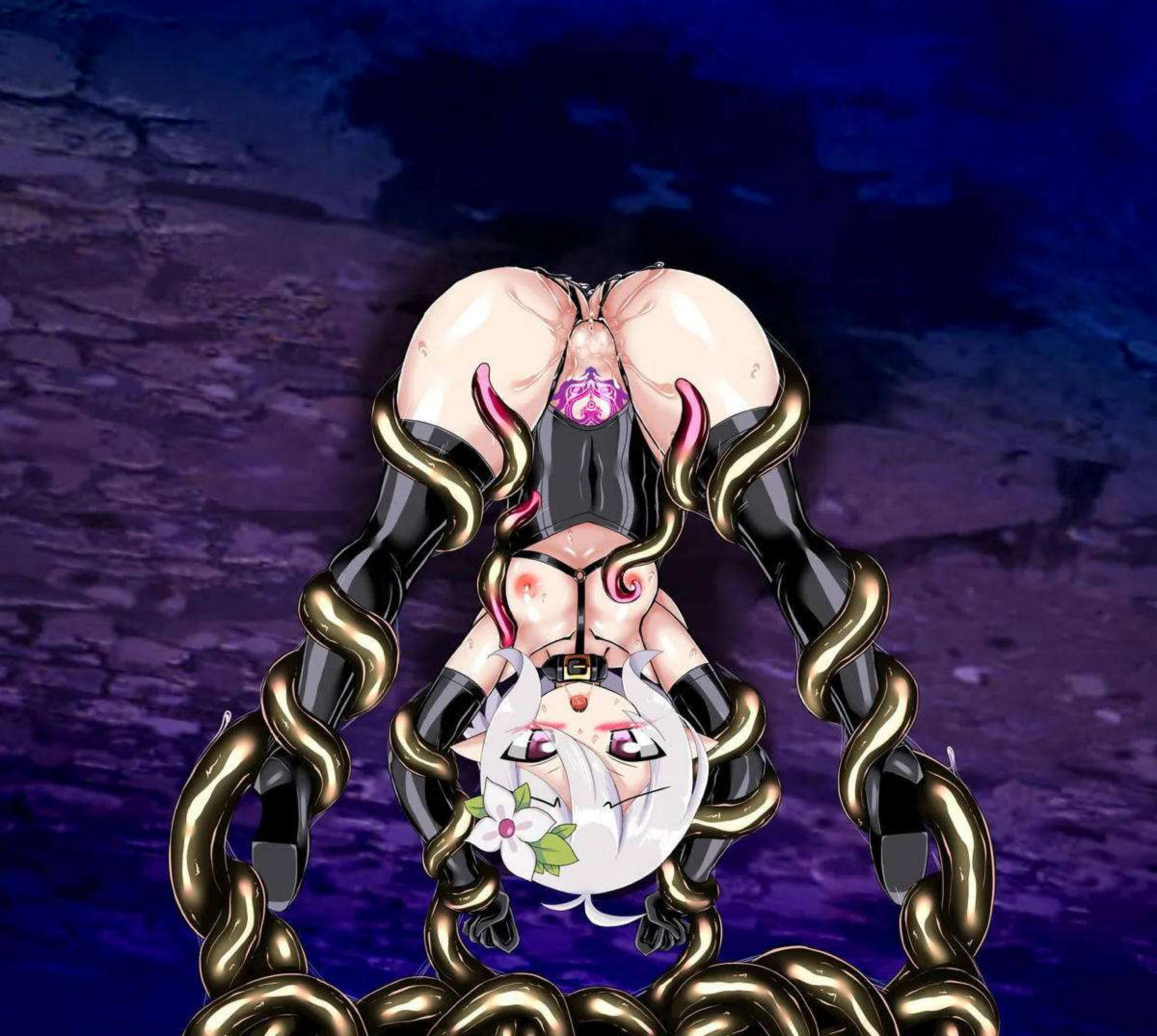
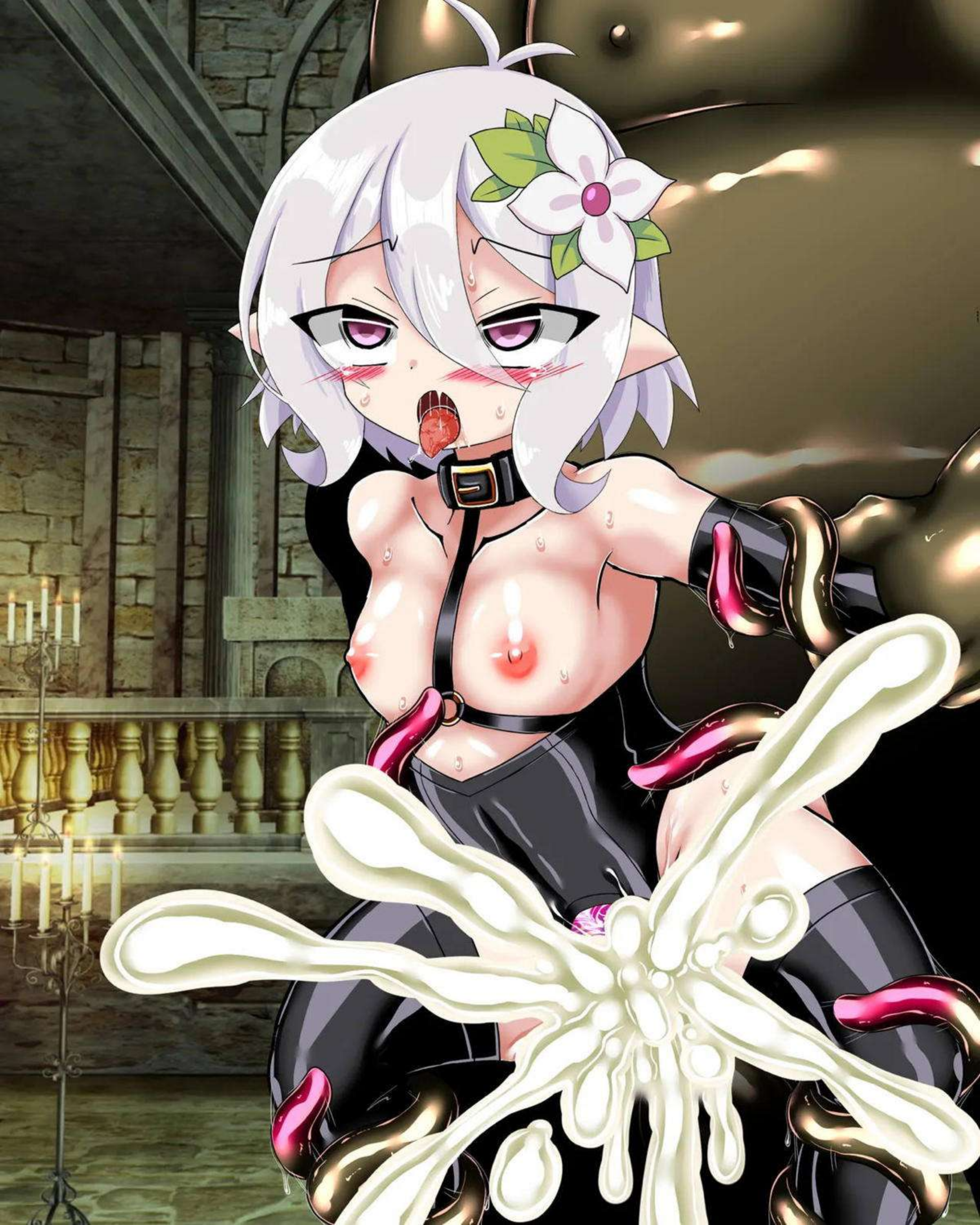
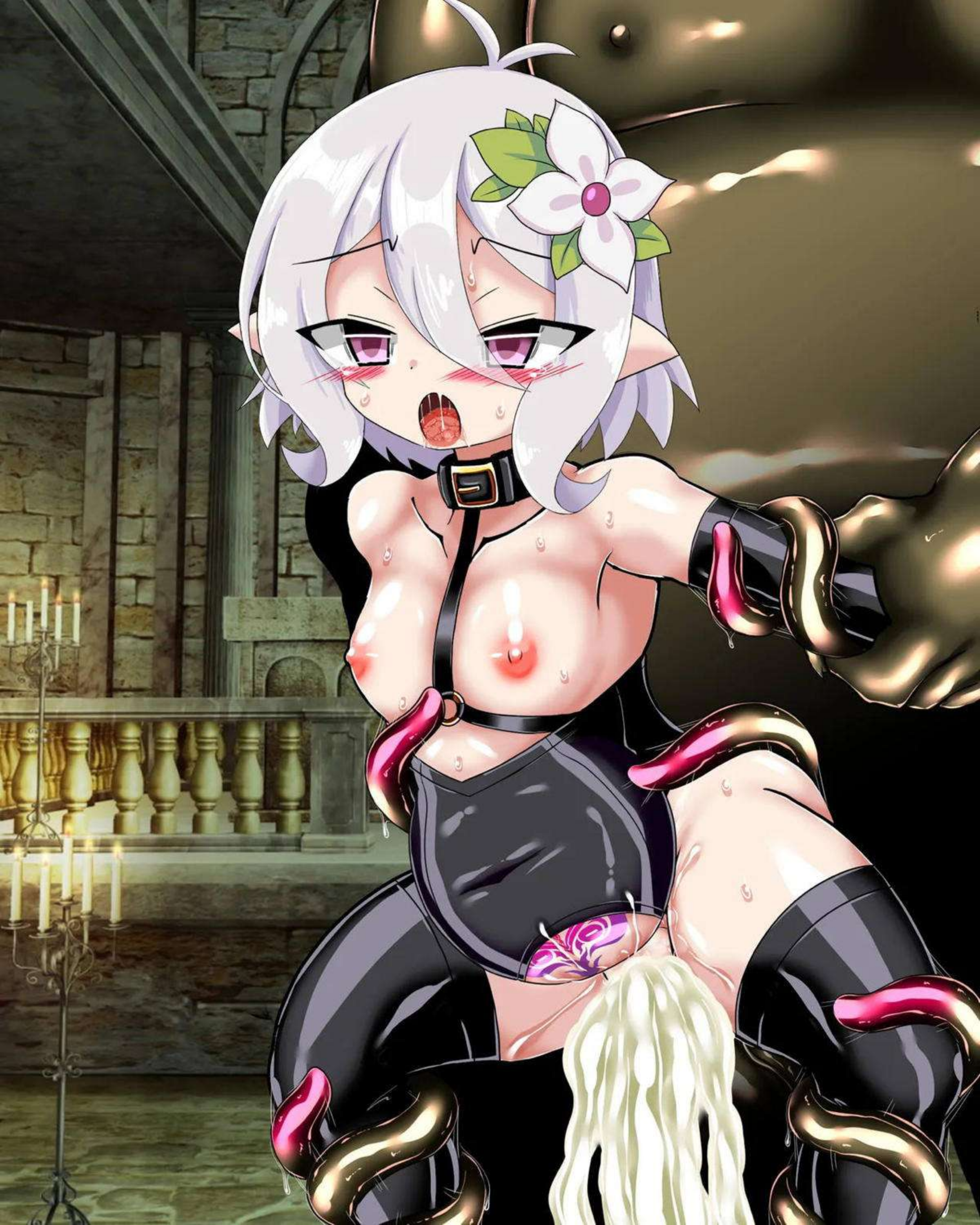
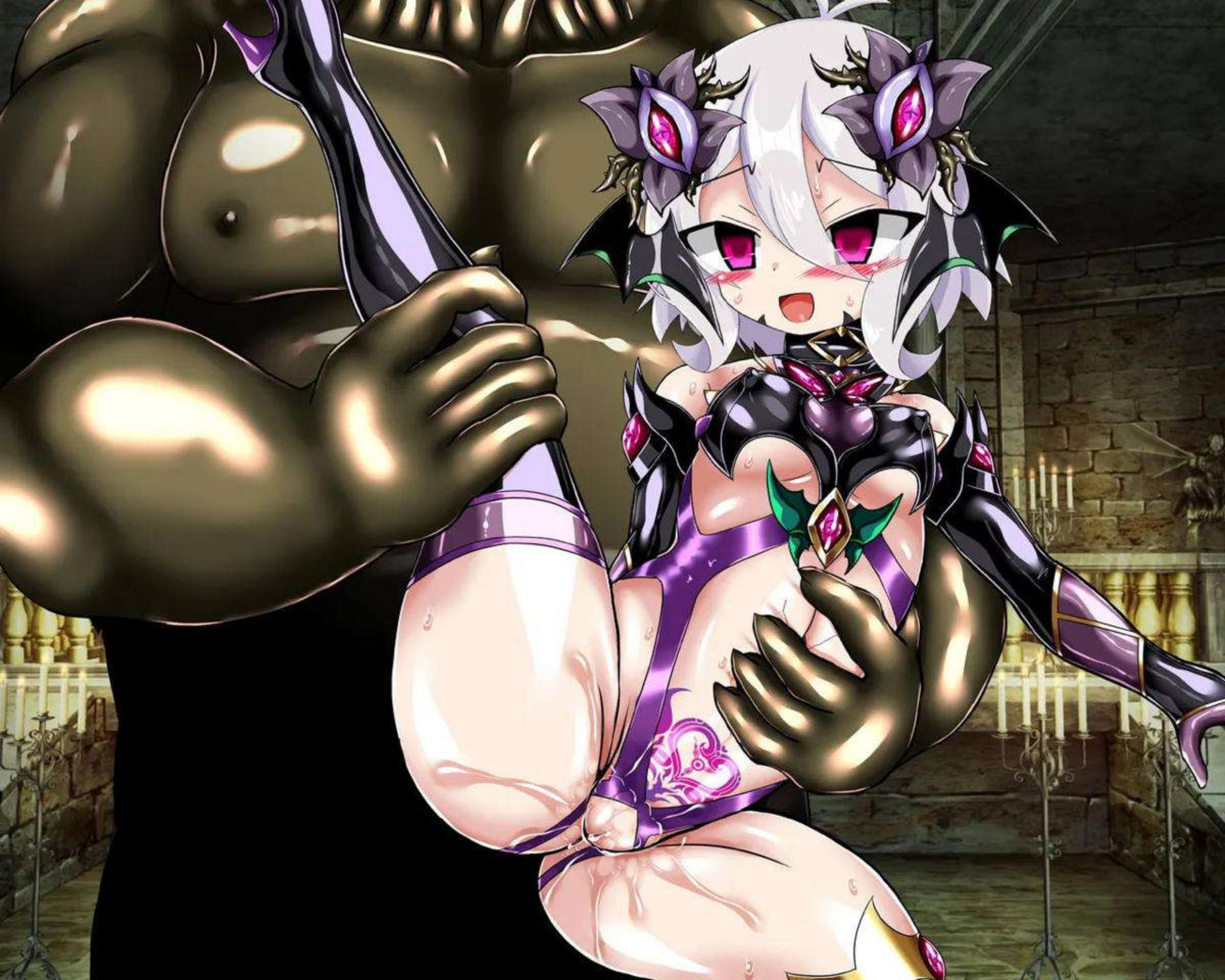
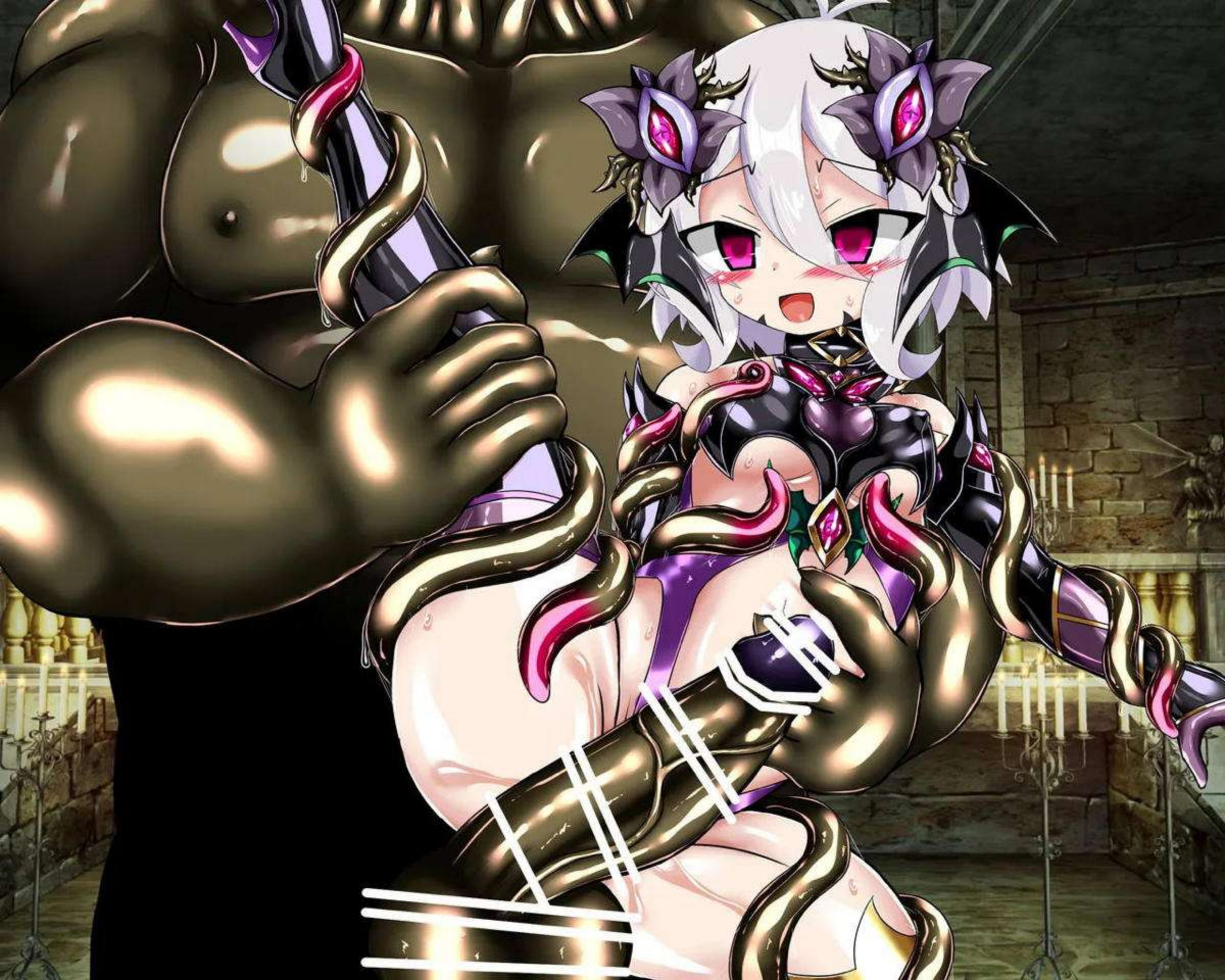
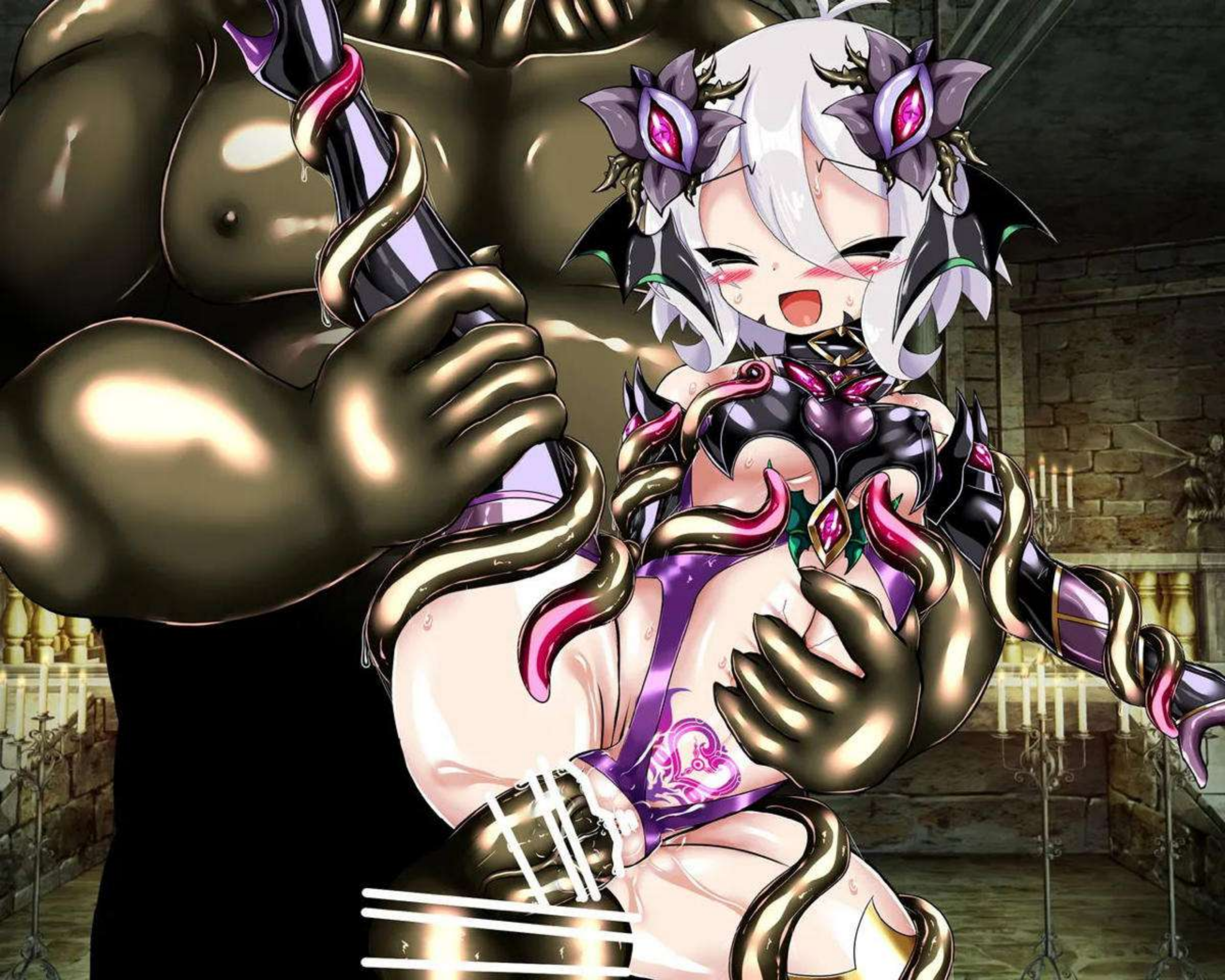
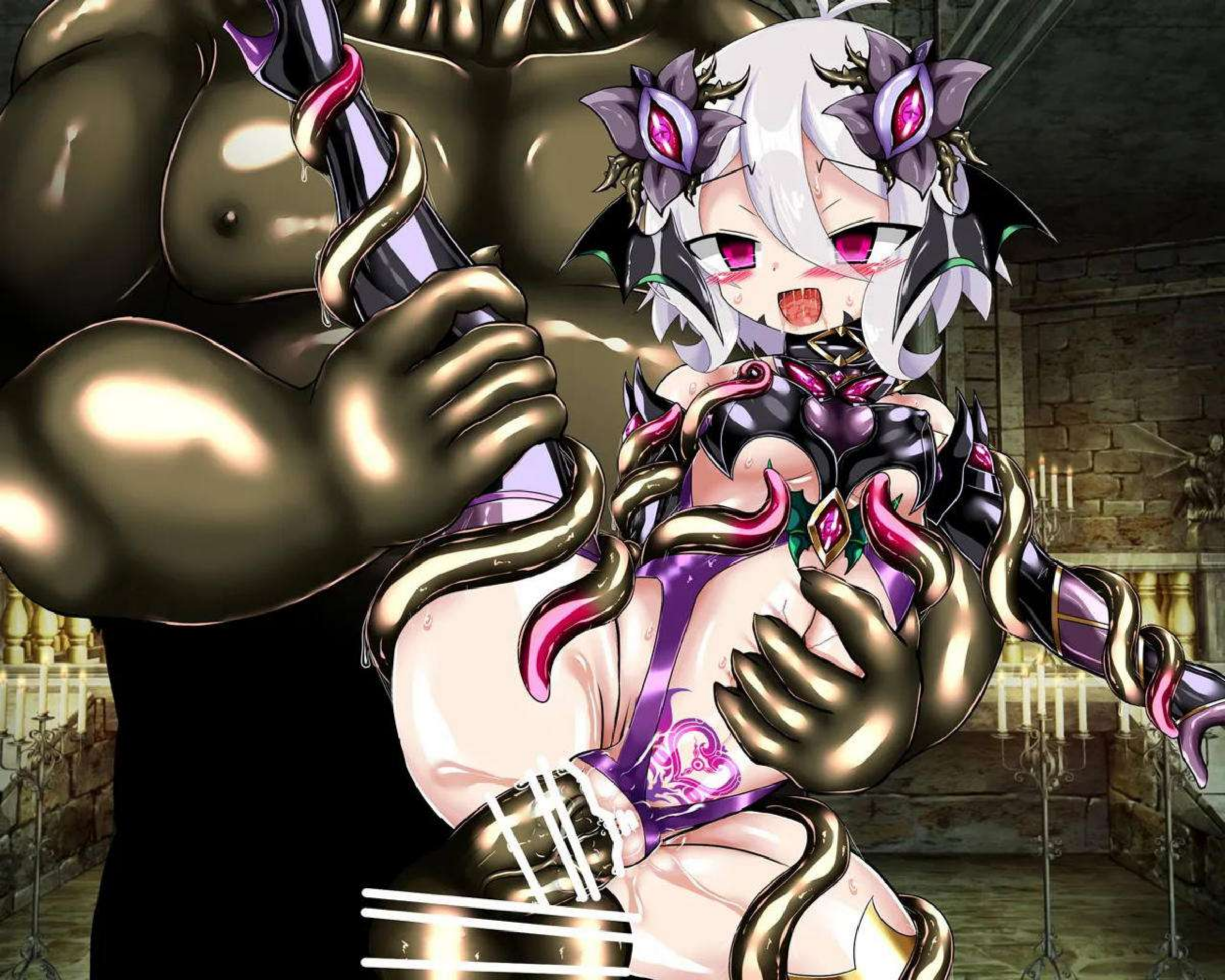
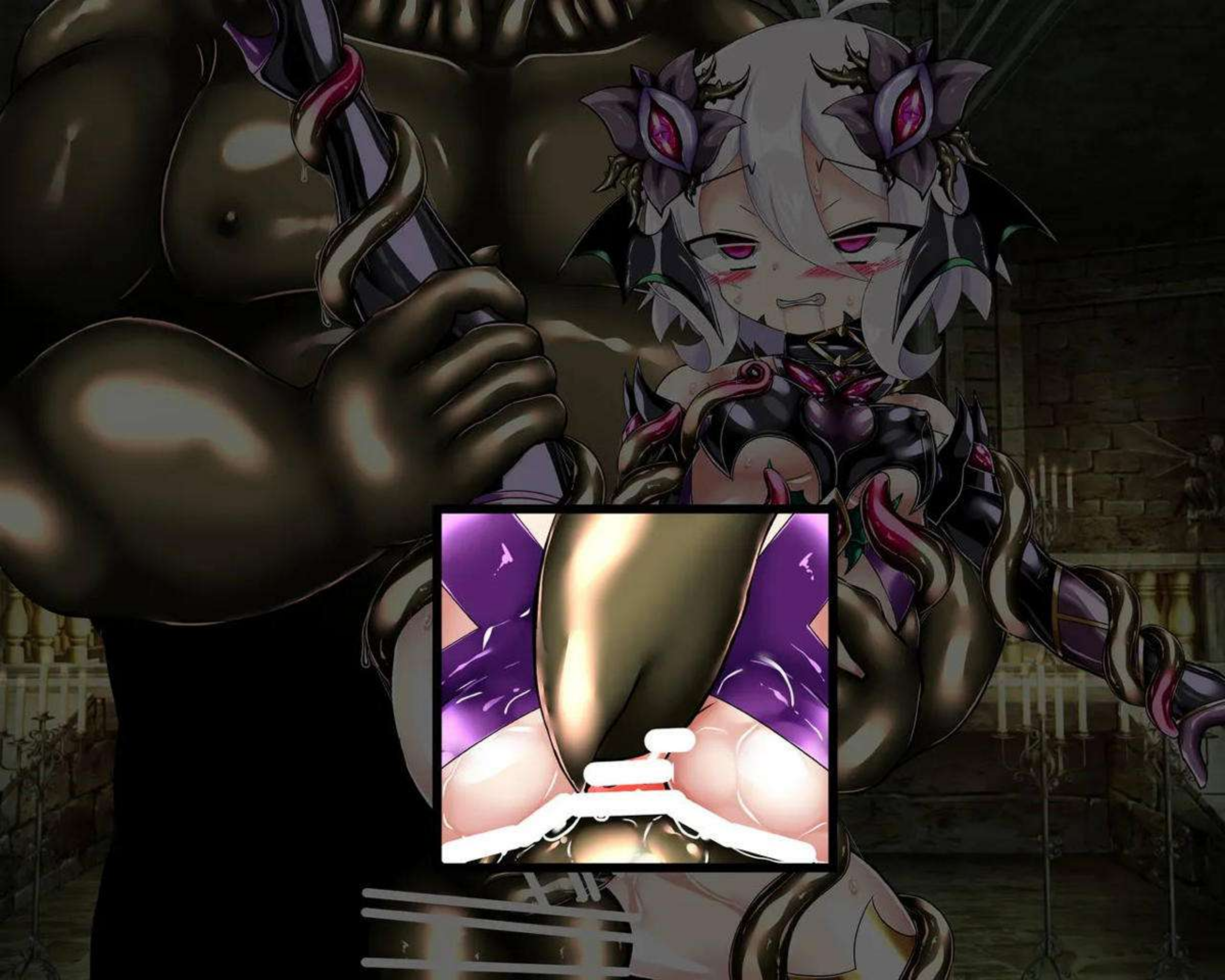
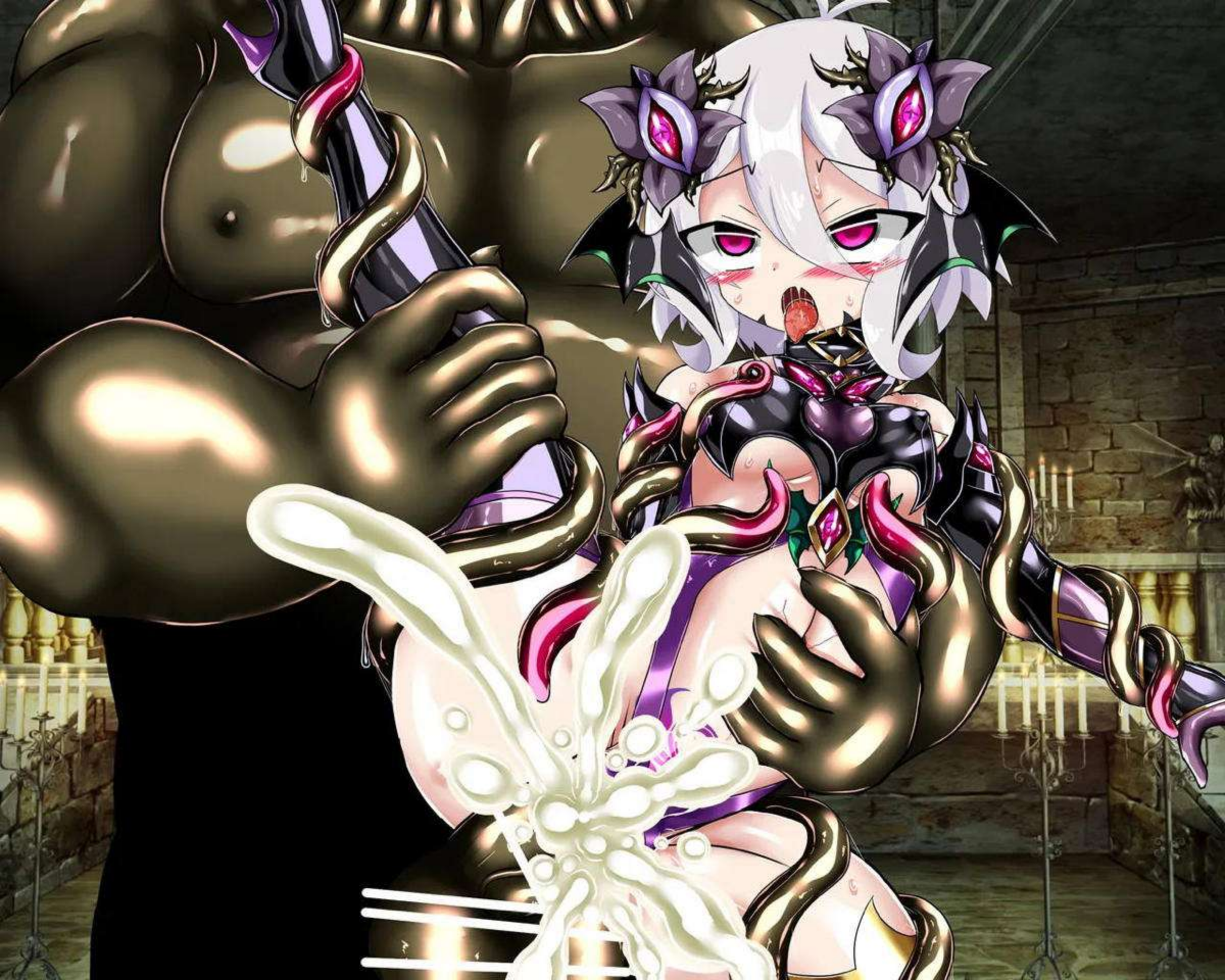
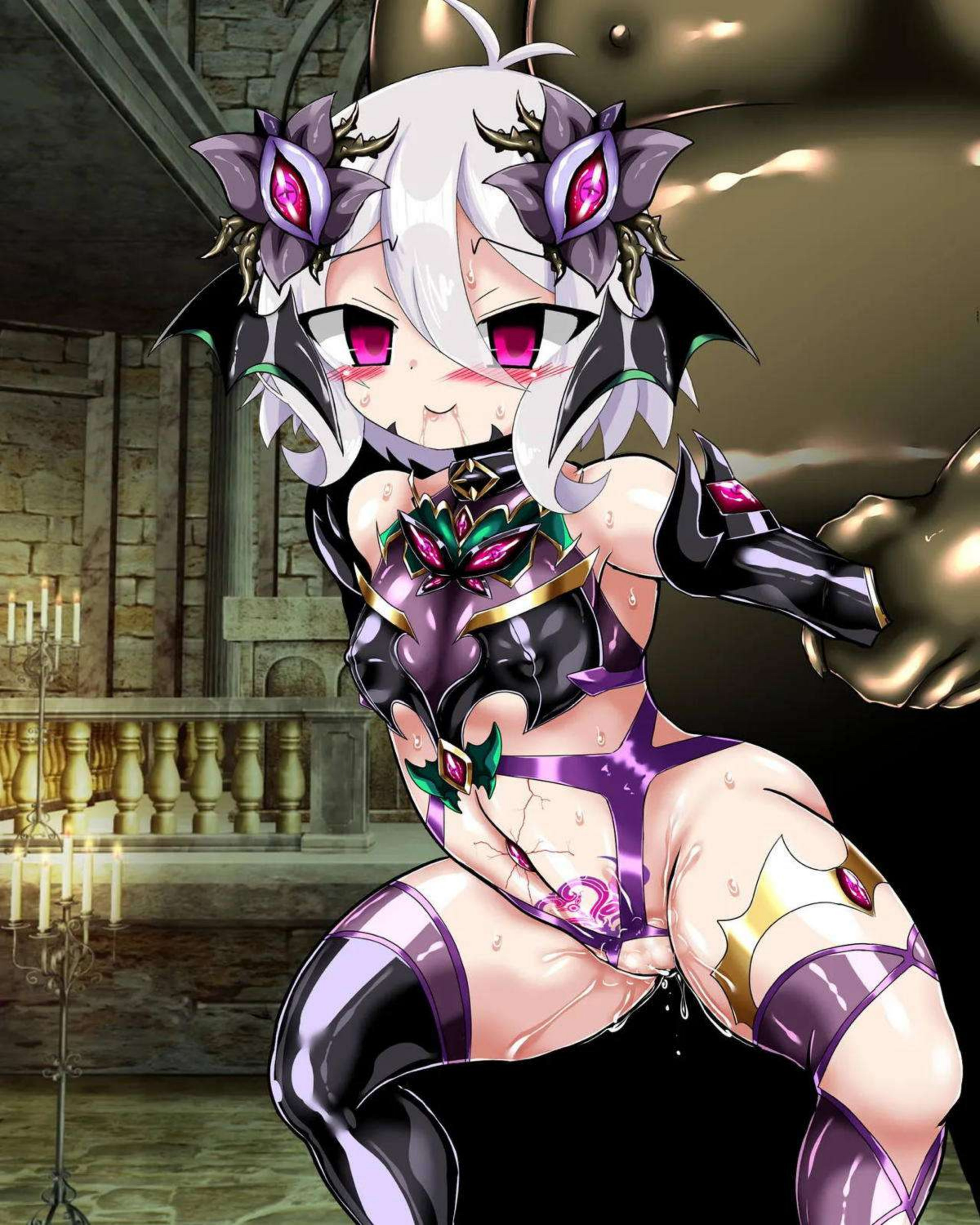
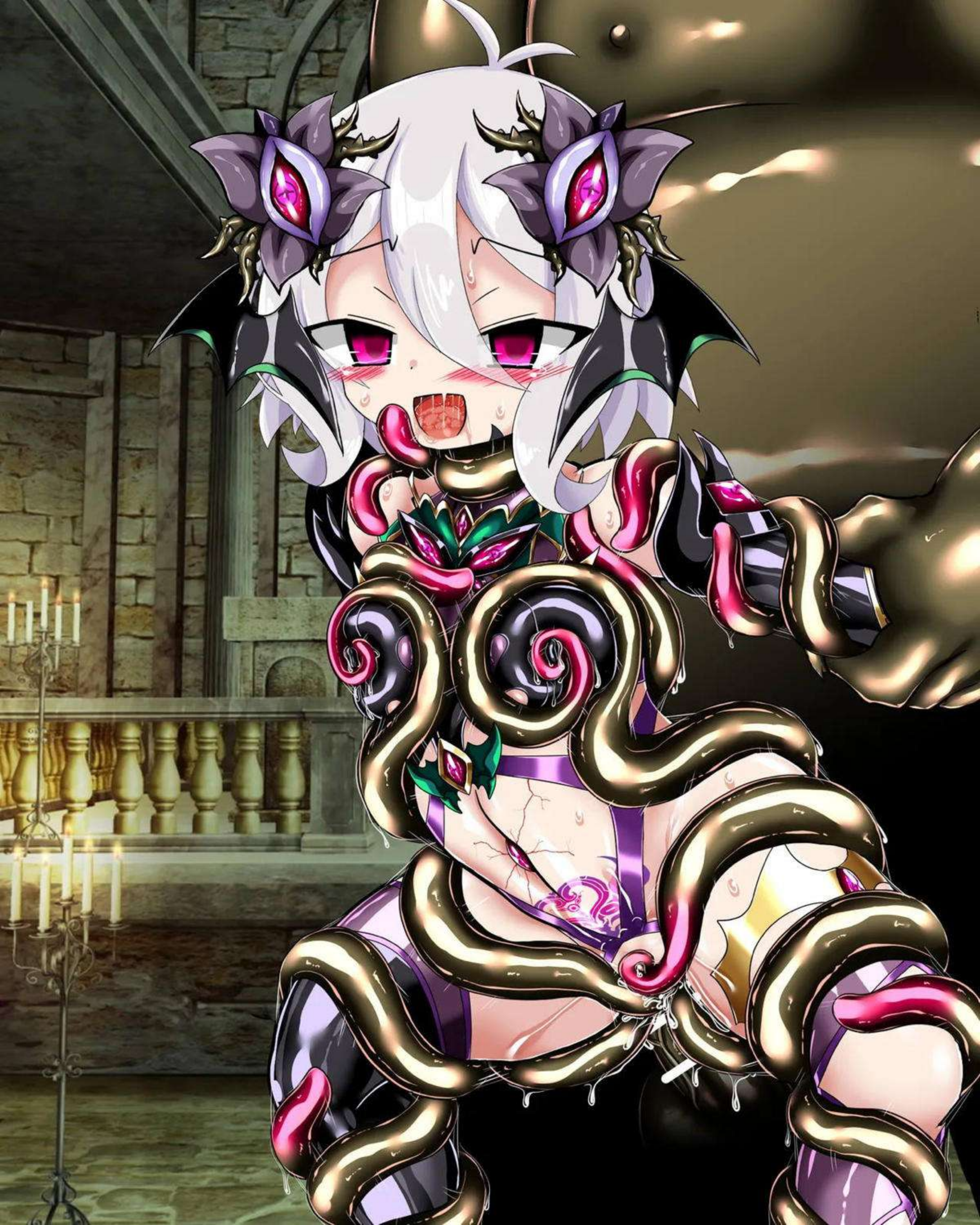
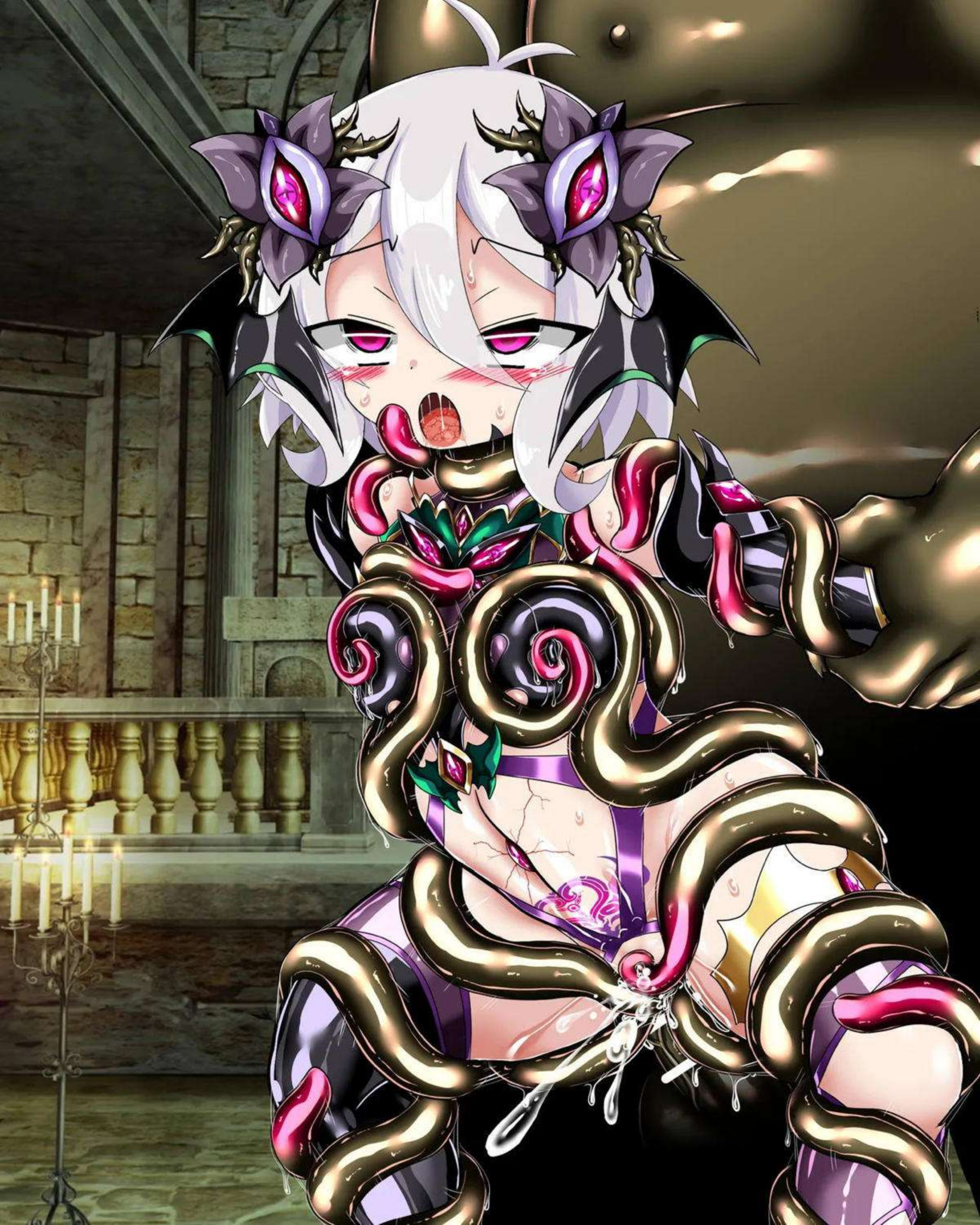
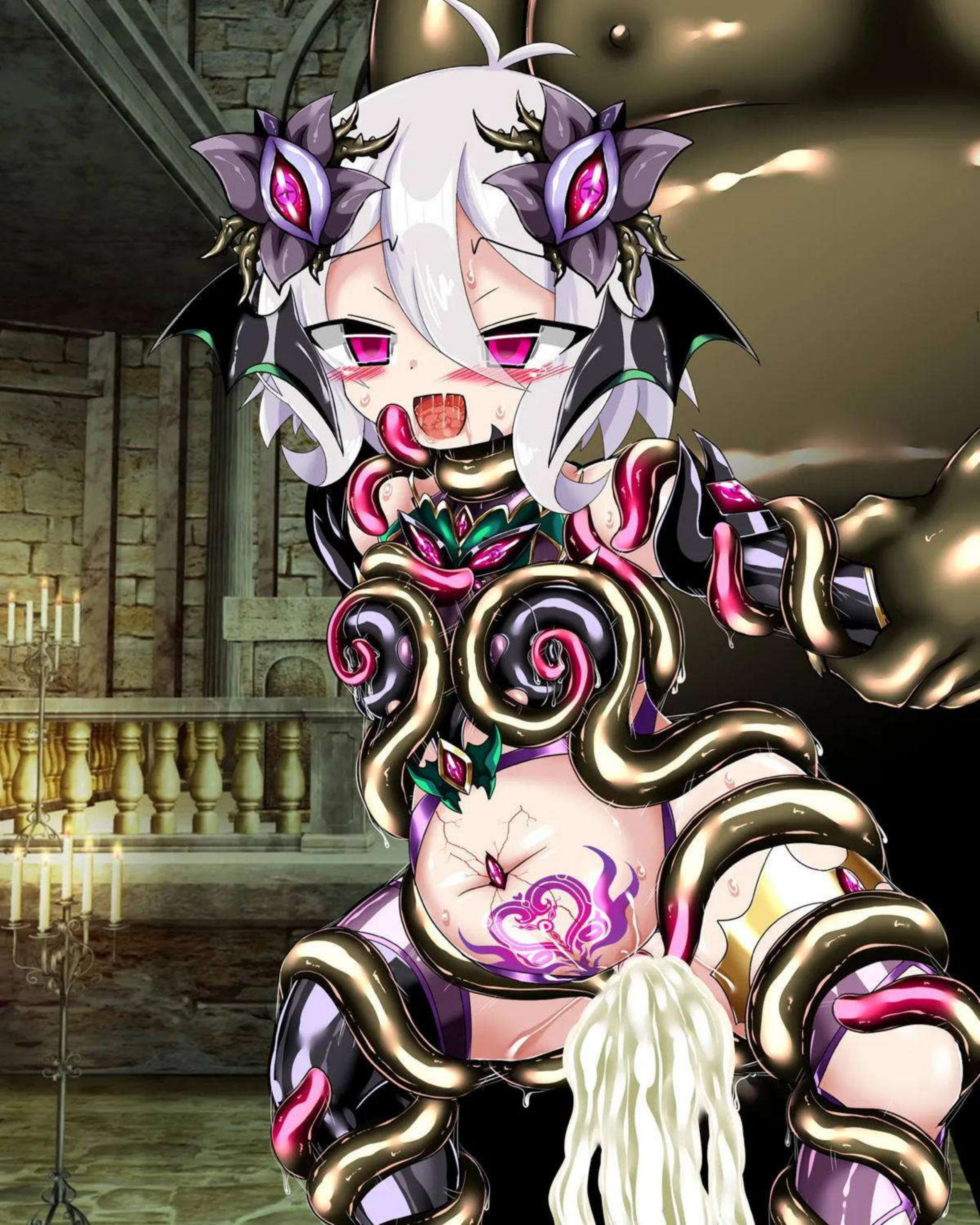
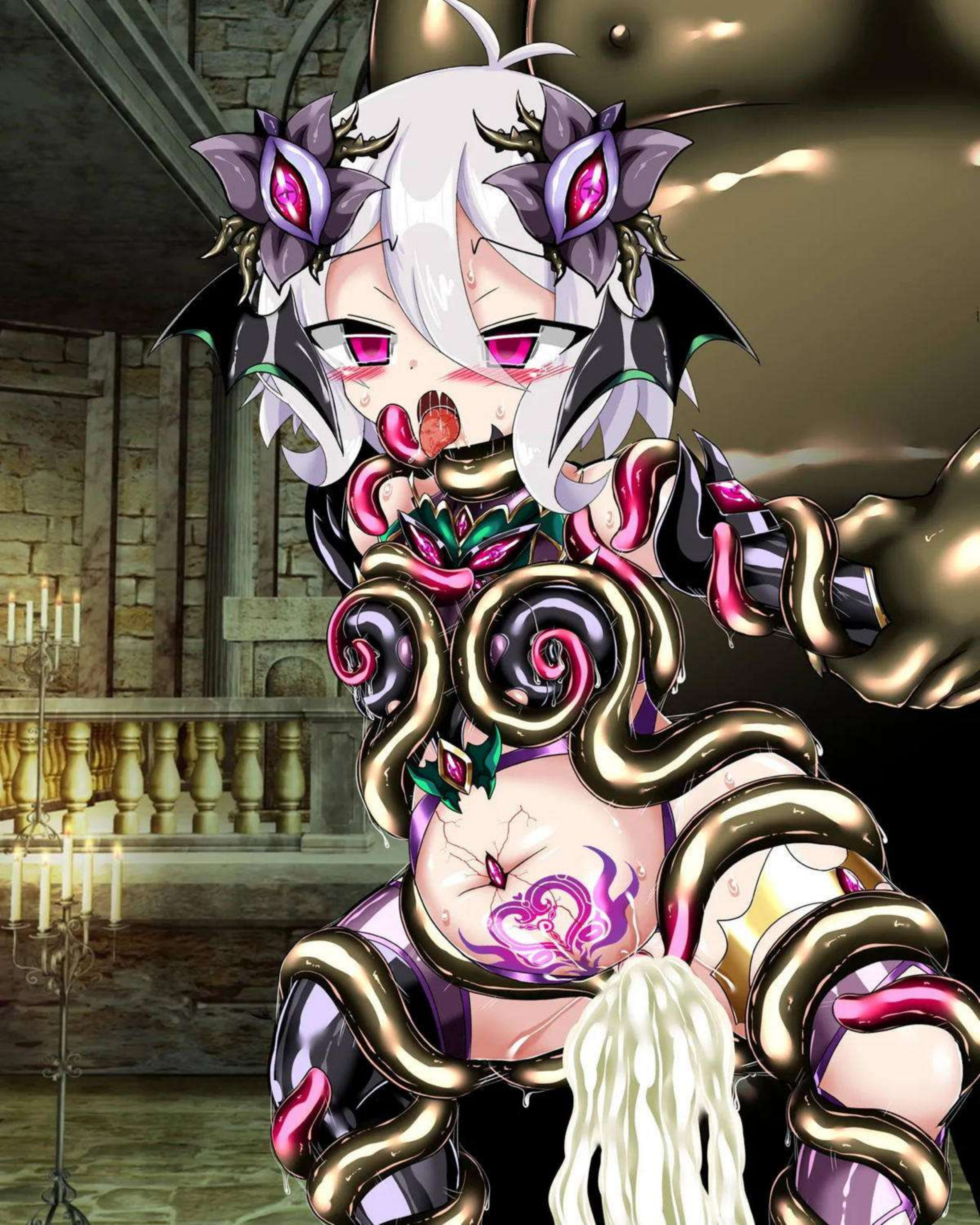
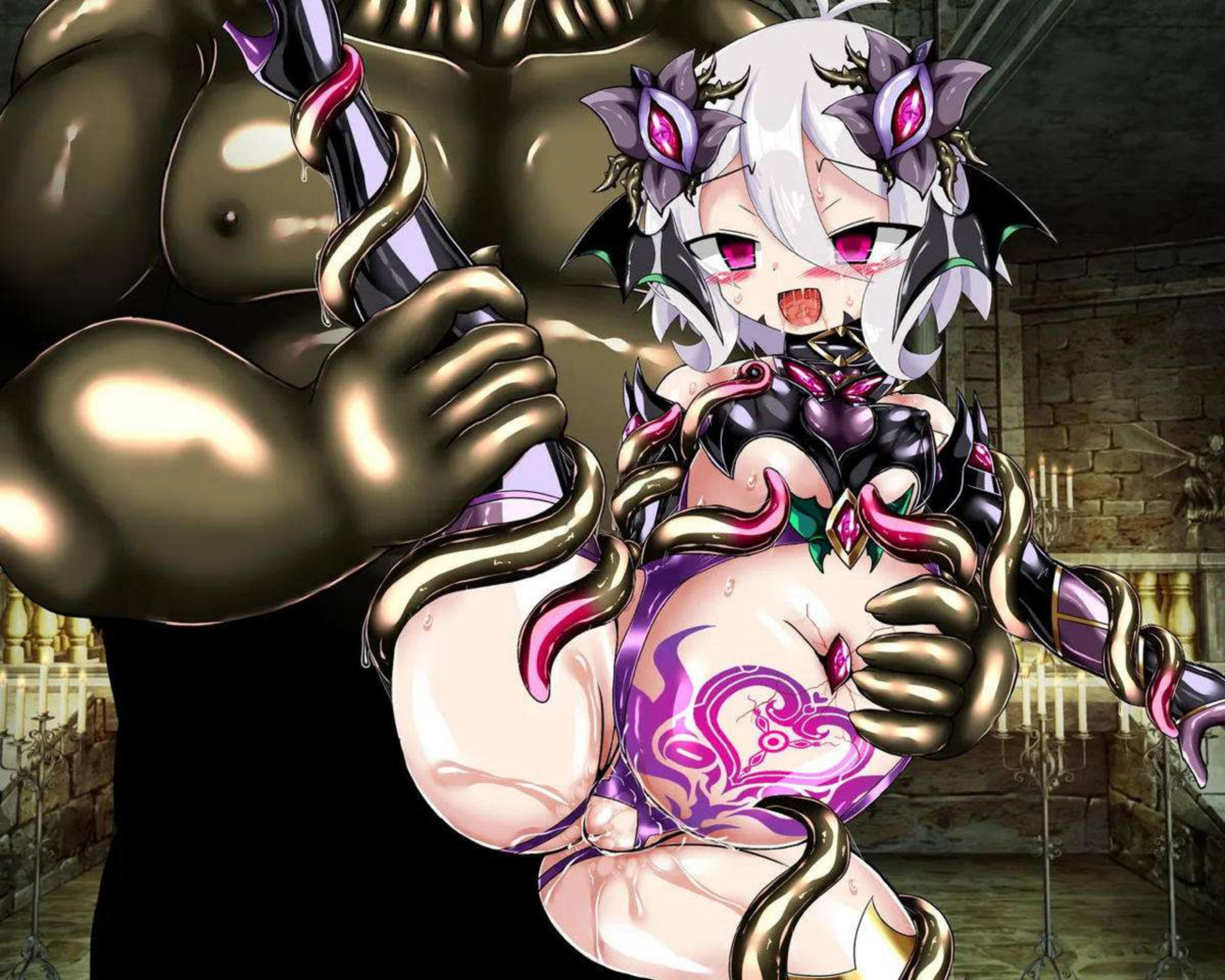
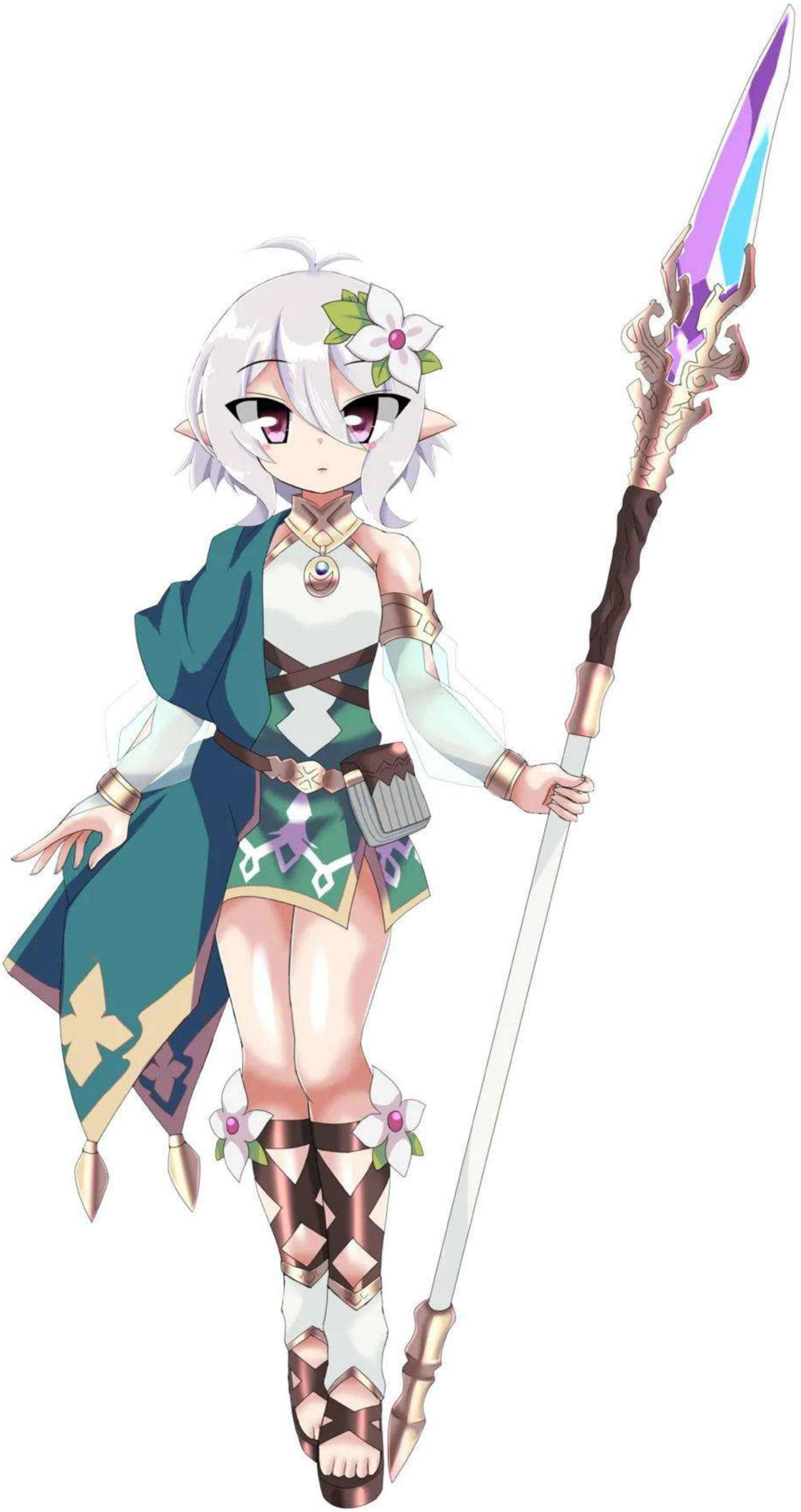
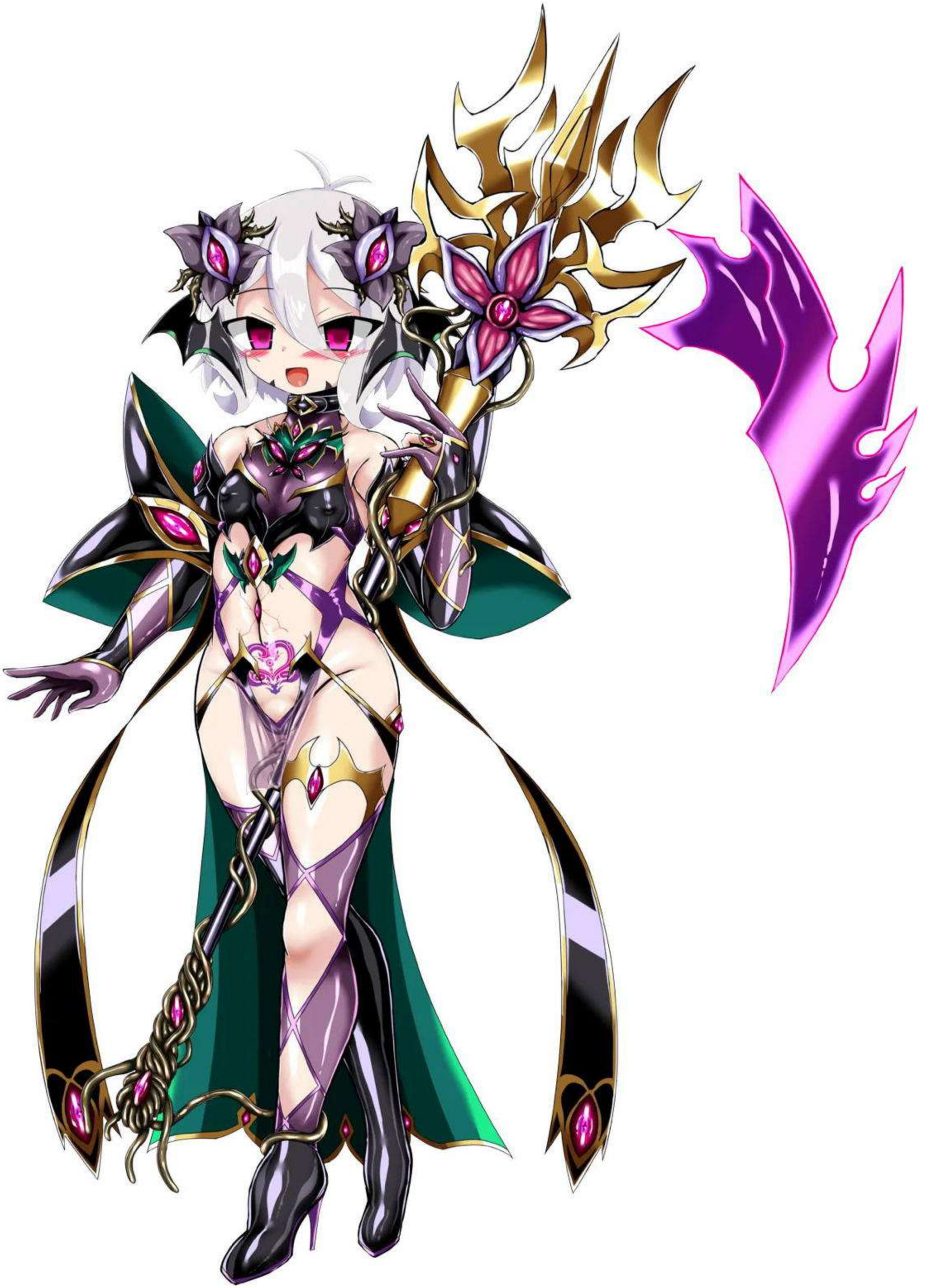
ビュルルルルル♡
ぉぉぉぉぉ♡

ぼがぼがぼがぼ～
ずぢゅるるるるっ

ビクン♡
ビクン♡
あ♡
あッ……♡
ビクビクッ♡

ぐふふ…もう孕んだか
ナデナデ♥
はいぃ…わたくしは主様に尽くす牝奴隷…
主様の慰めだけでなく…主様のための女を産み落とすのもわたくしの役目ですからぁ…

なら、もっと犯してやるから
俺のための兵をもっと産んでくれよ
はいいい
ドクンッ
ドクンッ
主様のために
いっぱい孕んで
産み落とします
ううう


ぶぶぶぶぶ
ぴゅぴゅっ♡
ぴゅぴゅっ♡
とりあえずっ♡
To be continued...